

アセンション BOOK16

宇宙の 12 神殿 1

2015 年 4 月

天の川銀河の 12 神殿

1

愛の種族 & 神聖なる 愛の結晶



愛の種族&神聖なる愛の結晶 目次

- 第1章 高次の世界とシェンロン達
- 第2章 黒のドラゴン達の浄化と目覚め
- 第3章 愛の種族と愛のシェンロン
- 第4章 シェンロンの神聖なる愛
- 第5章 地球の地殻の調整
- 第6章 新たな宇宙の創造
- 第7章 サナートクマラと地球の柱
- 第8章 地球の安定と成長
- 第9章 宇宙のシャーマン日巫女族
- 第10章 愛の種族を守護する光の天使
- 第11章 神聖なる愛の結晶
- 第12章 神聖なる愛の女神のもとへ
- 宇宙で活躍する創造主の段階

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI

yume34@k-suai.com

イラスト えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ

<http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 高次の世界とシェンロン達

PART1 シェンロン（神龍）と宇宙エネルギー

2015年に入ると、私達はアチューメントと星のツアーを通して、さまざまな次元にいるマスターやシェンロン達と出会う事となりました。

今回は、これらの多彩な次元におけるマスターとシェンロン達の事から話を始めましょう。

○シェンロン（神龍）の名前の意味と目的

私達シェンロン（神龍）の意識と皆さんの意識を分かち合ってください事に深く感謝いたします。

私達シェンロン（神龍）は、宇宙と皆さんに関わる様々な次元に存在しています。

それは、シェンロン（神龍）というものは、この宇宙を構成するエネルギーを形として表した存在であるからです。

この宇宙は、おおいなる「宇宙の意志」の働きを受けて、様々なエネルギーから生まれ運用されていきます。

宇宙のエネルギーは、常に循環し、形を変え、様々な働きを持ちます。

そのような様々な働きを行っているエネルギーを皆さんに分かりやすく表すためにシェンロン（神龍）やドラゴン（龍）の形と名

称が使用されているのです。

皆さんの中には、すでに高次の意識をもち、宇宙のエネルギーそのものとして認識するほうが、理解しやすい方もいらっしゃると思います。

そのような方は、わざわざシェンロン(神龍)の姿や名称を用いる事なく、そのまま宇宙の一つの目的を持ったエネルギーとして理解していただければよいと思います。

私達も、エネルギーそのものとして理解し、活用していただいたほうが嬉しく思います。

しかし宇宙エネルギーの働きは多岐にわたっていますので、その働きをシェンロン(神龍)の名称や働きに関連付けて理解してください。

○宇宙の創造の源である「宇宙の意志」と崇高のシェンロン(神龍)達

私達は、大いなる「宇宙の意志」と共に生まれました。

「宇宙の意志」は、天の川銀河やアンドロメダ銀河などで構成する単一宇宙(ユニバース)をはるかに超えた世界を統一する意思です。この宇宙は、単一宇宙(ユニバース)がいくつか集まって複合的な宇宙(マルチバース)を作りますが、その複合的な宇宙を生み出している存在達(創造主エンソフ)もいます。

宇宙は、物理的な世界を作り出す前に、物理的な形のないスピリチュアルなレベルで存在しています。

そのスピリチュアルな宇宙を構成している存在達(セントラル種族・クリスタル種族)を生み出し、スピリチュアルな世界を創造してい

ったのが「宇宙の意志」と呼ばれている存在です。

この「宇宙の意志」から生み出された最初のエネルギー(シェンロン)が、このすべての宇宙を構成するエネルギーの始まりとなりました。

最初に生まれた3つのエネルギーを次のように呼んでいます。

崇高のエネルギー (シェンロン)

叡智のエネルギー (シェンロン)

創造のエネルギー (シェンロン)

統合のエネルギー (シェンロン)

またこの3つのシェンロン達をまとめる統合のシェンロンと呼ばれる存在もいます。

この最初のエネルギーの世界は、まだ物理的でもスピリチュアル的でもありませんが、「大いなる意志」によって形作られた原初の宇宙でした。

「宇宙の意志」がつかさどる叡智には、この宇宙が創造されるために必要なプログラムや星々や銀河、また多くの動植物達の生命の設計図などが秘められていました。

また「宇宙の意志」は自らの意思や思いを伝えるために「黄金の女神」と呼ばれる存在を作り出しました。

「黄金の女神は」は、さまざまな次元や宇宙、そして星々に自由に行き来して、多くの種族達を導く役目を行います。

○スピリチュアルな宇宙の始まりとセントラル種族

「宇宙の意志」は、叡智をもって、創造のエネルギーを使い、原初の宇宙を形作りました。そしてその世界に、創造と叡智と崇高なる意志のエネルギー（シェンロン）の働きを与えました。

私達にとって目に見えない、まだ物理的でない最初の宇宙が、そこに生まれたのです。その世界をつかさどるために「宇宙の意志」は宇宙の最初の種族である「セントラル種族」と「クリスタル種族」を生み出しました。

セントラル種族

セントラル種族は、「宇宙の意志」に従って、創造のエネルギーを光に変え、いくつもの光に分化させていきました。

いくつもの光やエネルギーはそれぞれの役割を持ち、さらに必要に応じて分化を繰り返し、さまざまな次元と世界を作っていました。

セントラル種族は、宇宙を一つの光から生み出しましたが、分化されていく光によって生み出されていく世界は、非常に多様な世界を生み出したので、それは「分化していく宇宙」と呼ばれました。

その為、そこに生きる生命達も、物事を分けてみる分化の習性を学ぶ事になりました。しかしセントラル種族によって生み出された世界を振り返るならば、すべてが一つの光から生まれた「統合の世界」から始まります。いままで分化し、さまざまな様相と価値観を生み出した世界は、やがて再び統合の世界へと戻る事になります。

クリスタル種族

このセントラル種族の活動にプログラムを与えていたのが「クリスタル種族」と呼ばれる種族によって保持されていた叡智です。

彼らは、「宇宙の意志」と「叡智のシェンロン（神龍）」によって与えられた叡智をさまざまな形で保持し活用してきました。

彼らは、いくつものスピリチュアルな次元にマスターとして存在していましたが、一つのスピリチュアル次元が物理次元に移り変わるときに、彼らのエネルギーは結晶化し私達が手にしているようなクリスタルに変わりました。

○スピリチュアルな世界に生まれた光のシェンロン（神龍）達

このスピリチュアルな世界でも、宇宙の原初のエネルギー（シェンロン）は、さまざまなエネルギー（シェンロン）に変容し、宇宙を構成する母体となります。

そして宇宙がさらに成長するにつれそのエネルギー（シェンロン）は自らを変容させていくのです。

私達は、この世界において活躍する代表的なエネルギー（シェンロン）に名前を付けています。

「光のシェンロン（神龍）」

宇宙に創造と癒しのためのエネルギーを与えます。

エネルギーの働きを活性化しより高次のエネルギーとつないでいきます。

「虹のシェンロン（神龍）」

さまざまな世界を構成する多様なエネルギーの象徴です。

いくつもエレメントを生み出し世界を創造していく基礎を作ります。

「変容のシェンロン（神龍）」

光を分化させるだけでなく光を統合し、より高次の働きを持つ光（エネルギー）を生み出していきます。

また私達や生命があるべき姿に進化するためのサポートを行います。

セントラル種族とクリスタル種族は、やがて「宇宙の意志」の意向を受けて、物理的な宇宙を生み出す事になりました。

そこに生み出されたのが、物理的な世界の創造母体となる「愛の源」と呼んでいる世界です。

○物理的宇宙の母体「愛の源」と創造主達

「愛の源」はそこから物理世界を生み出し、物理世界を愛のエネルギーで優しく包み込んでいます。

そこに満ち溢れているエネルギーはまさしく至福のエネルギーとして、存在するすべてのものを光に満たし、創造と統合のエネルギーを与えます。

「愛の源」には、物理的な宇宙を作り出すための多くの働きがあります。

それもすべて「宇宙の意志」からもたらされたエネルギーなのですが、私達に分かりやすいように人型の存在として、われわれの前に現れてきます。

この愛の源には、私達が「マザー」と呼んでいる存在がいます。

マザーは、この愛の源のエネルギーそのものです。

このマザーのもとで多くのエネルギーや光がそれぞれの働きをもって存在しているようです。

私達に知らされている宇宙創造のメンバー達をご紹介します。

「ワン」

このマスターは、通常私達の前に現れる事は少ないのですが、この宇宙の次元と時間を創造するマスターです。

いうならば、宇宙の大家さんのような方で、彼によって作られた宇宙のひな型と時間の中で、エンソフと呼ばれる創造主が、さまざまな宇宙を創造していく事になります。

「創造主エンソフ」

創造主エンソフは、この宇宙をいくつもの光（エネルギー）を分化しながら、物理的な宇宙を具体的に作り上げていくマスターです。彼らは数名のメンバーにより構成されており、それぞれが星や生命を生み出したり、宇宙船を作ったりなどと特異な分野を持っているようです。

この宇宙は、エンソフ達によって創造されますので、エンソフ達は、物理的な世界の中に、個別の宇宙を創造するための創造主のグループや彼らをサポートするバード族やマスター、女神達を生み出します。

目に見える物理的世界とそこに関連するスピリチュアルな世界は、創造主エンソフと彼らが生み出した多彩なグループによって運営されていくのです。

私も、時折過去や未来にいて、そこで起こっているトラブルを解決する事がありますが、異なる時間のなかで、種族を救ったり星の壊滅を防ぐ時など、その後の未来に大きな影響を与える場合には、必ず創造主エンソフの許可を受ける事になっています。

エンソフのグループは、時としてブラフマンと呼ばれる事もあります。

「ウイング」

ウイングは光の羽のような形で認識されます。

ウイングは、天使達の源となる存在で、彼らが物理的な宇宙や物理的な宇宙を基にしたスピリチュルな世界に降りてきたときに「天使」と呼ばれます。

天使達は、物理次元に入ると、皆さんがよくご存じのように「大天使ミカエル」「大天使ガブリエル」のように、その役割を与えられます。

これもウイング達の光がいくつにも分化されてきた証ですが、次元が下がってもその役割は、その次元の天使達に受け継がれていきます。

その為に、ユニバースを守る大天使ミカエル、天の川銀河を守る大天使ミカエル、太陽系を守る大天使ミカエル、そして地球を守る大天使ミカエル、皆さん個人を守る天使ミカエルというようにその次元が下がってきても、同じミカエルの働きは継承されます。

ただし、ウイングの世界では、そのような役割はまだ分化されておらず、すべてのウイングが天使達の多くの資質を持ったままそれぞれの仕事をしています。

彼らの仕事というのは、創造された星や自然環境、そして生命を守り守護する事です。

ウイングや天使達は、すべての生命達を守護しますが、とりわけ「叡智を持つ生命達」に対しては、厳しく指導する事があります。

「愛の女神ラメール、太陽神アメンラー、大地のマスター」

彼ら 3 人のマスターは、「宇宙創造の原理」と呼んでいるものです。

物理世界の創造はすべて「愛」の力によって行われます。

人間も「愛」の力によって子供が生まれるように、この宇宙も愛の力によって多くのものが融合し、新しいものを生み出していくのです。

大地のマスター

しかし、愛の力ばかりでは、新たな存在がどんどん生まれてしまいます。

それをしっかりと創造の母体につなぎ留め、適正な形に保つものが大地のマスターの役目です。

この宇宙には、それぞれの次元に、「宇宙の大地」と呼ばれる場所があり、マスターが存在しています。

「宇宙の大地」は成長していく宇宙の中心にあって、成長していく宇宙を支え続けますが、時として「宇宙の大地」の許容量を超えて成長していく場合には、その宇宙は「宇宙の大地」の働きによって習性が行われます。

太陽神アメンラー

「太陽神アメンラー」は、生み出された星々や生命を育てるための光やエネルギーを送ります。

やがて太陽神アメンラーは、自らのエネルギーを適切に活用するために、「セントラルサン」と「セントラルムーン」を生み出し、星々

や生命の育成に関する多様な働きを行う事になります。

愛の源における創造主のグループには、ほかにも「デバイン・マスター」と呼ばれるグループがあります。

彼らは、「宇宙の意志」やセントラル種族の意志に基づいて、宇宙が創造され運営されているかを見守るためのグループです。

宇宙の中で大きな問題が起こると、彼らの指示により、その在り方が変更されるようです。

○物理的宇宙を生み出すエネルギー「シェンロン（神龍）の聖地」

この宇宙を生み出す「愛の源」にも、宇宙のエネルギー（神龍）をつかさどる場所があります。

それは、この「愛の源」の特殊な領域に「シェンロン（神龍）の聖地」として存在しています。

幾重にも守られた聖地に入ると、私達には多くのシェンロン（シェンロン神）達が自由に空を駆け回っているように見えます。

中には子供のシェンロンかなと、思われるシェンロン（神龍）達もいて、ここでさまざまなエネルギーが生み出され、育てられている事がわかります。

エネルギー（神龍）は、多くのあらたなエネルギー（神龍）を生み出し、新しい世界の創造の母体となっていきます。

ここを統治するシェンロン（神龍）は、黄金のシェンロン（神龍）と白銀のシェンロン（神龍）と呼ばれる存在です。

彼らは、この宇宙を創造する 2 つのエネルギーの象徴です。

もしかすると、「宇宙の意志」のもとにある「叡智のシェンロン（神龍）」と「創造のシェンロン（神龍）」のエネルギーを受け継いでいるのではないかと思われます。

このシェンロンの聖地のシェンロン（神龍）は、これから物理的な宇宙、スピリチュアル的な宇宙で活躍するシェンロン（神龍）達の源となっているマスター・シェンロン達です。マスターシェンロン（神龍）達は、セントラル種族や創造主エンソフ達の意志に基づいて、目に見えない世界から目に見える世界を生み出すために、エネルギーを変容させていきます。

自らがエネルギーや光となり、その身を変容させながら新たなものに生まれ変わっていくのです。

○物理世界を生み出す 4 大エレメントのシェンロン

彼らが物理世界に降りていくと、最初に 4 大エレメントをつかさどるシェンロン（神龍）達が生まれました。

物理世界の基礎となる 4 大エレメントの働きを担い、その働きによって物理的なエネルギーを生み出していきます。

彼らは、以下のように呼ばれました。

「土のシェンロン（神龍）」

「火のシェンロン（神龍）」

「水のシェンロン（神龍）」

「風のシェンロン（神龍）」

4 大エレメントのシェンロン（神龍）達は協力し合って星々を支えるスターシェンロン

(神龍)になります。
さらにスターシェンロン(神龍)がいくつか集まって銀河や星団を作るコズミックシェンロン(神龍)が生まれるようです。

また、創造された宇宙の中で、宇宙を運営するためのさまざまなエネルギーを、星々に運んでいるシェンロン(神龍)もいます。
さらに次元をおりると、自然環境や動植物の種族を守るシェンロン(神龍)や私達を守ってくれるシェンロン(神龍)もいます。
そしてそれらのものも全て宇宙の循環するエネルギーなのです。

宇宙の進化に話を戻しましょう。
愛の源のマスター達によって、物理的な宇宙が生み出されます。
それは小さな宇宙から、少しずつ複雑に分化して単一の宇宙(ユニバース)や複合的な宇宙(マルチバース)を生み出していきます。
まだ若い宇宙は、星の数もさほど多くなく単一の宇宙である事も多いようですが、私達が現在属している天の川銀河を含む宇宙(ユニバース)は、さらに多くのユニバースが存在する複合宇宙(マルチバース)の中の一つのようです。

複合的な宇宙(マルチバース)には、マルチバースを創造し運営する創造主(ブラフマン)達のグループがあり、彼らによってさらに多くの創造主やマスター達が、その次元に合わせて作られ存在しています。
また宇宙のエネルギー(シェンロン)も、この大きな宇宙にあわせて、より巨大なエネルギーと叡智、そして働きを持つ存在として活躍しています。

さらに複合的な宇宙(マルチバース)の一つ

として存在する単一宇宙（ユニバース）は、私達にとって観測可能な宇宙として存在しています。

天の川銀河やアンドロメダ銀河、オリオン星雲などの多くの銀河や星団が属し、その中には、さまざまな叡智を持つ種族が存在し、お互いに働きかけを行っています。

宇宙のエネルギー（シェンロン）達は、この世界においても、星々を支えるエネルギーとなって存在していますし、宇宙のエネルギーを各星にとどける役目も担っています。

また私達に身近な地球においても、私達人類や他の動植物達の種族の生命を支えるために、宇宙のエネルギーとして活躍しています。

第2章 黒のドラゴン達の浄化と目覚め

PART1 黒のドラゴン達の癒し

私達が、新しいクラスのメンバー達のために、サポート・アチューメントを行っている頃、宇宙の創造主である「宇宙の意志」や黄金の女神達によって新たな計画が始まっていました。

その計画にあわせて、私達は、この地球と宇宙における「黒のドラゴン」と呼ばれる存在の救出に関わる事になりました。

黒のドラゴンとは、この地球や宇宙に循環するエネルギーの浄化と再生に当たっているドラゴン達のグループです。

ドラゴンのほかにも、「黒の騎士団」「黒の大天使」「黒のエルフ」などと呼ばれるグループがあります。

彼らに共通する仕事は、決して表に出てくる事はありません。

彼らは、この地球や宇宙の健全な運営のために、ネガティブなエネルギーや人々の感情等によって生み出されたエネルギーの滞りを浄化し光に変えているのです。

彼らの存在がなければ、この地球や宇宙には、ネガティブなエネルギーが満ち溢れ、さまざまな影響が生まれてくる事でしょう。

しかしながら、この地球では人類による怒りや苦しみ、悲しみなどの感情がとても大きなネガティブなエネルギーを生み出しているようです。

ドラゴン達も、一生懸命に働いていますが、ドラゴン達の処理能力を超え、ドラゴン達もネガティブなエネルギーの中に巻き込まれてしまっています。

その為に、私達は、地底に降りて行って黒のドラゴン達を助けてあげる事となりました。最初は、私達のお世話係りさん達が行っていた女子会ツアーです。

これは、数名のお世話係りだけで行っているツアーですが、私ができない細かな事を行ったり、私達が行うべき事の下調べに当たる事を、こまめに行ってくれています。

この時は、新しく生まれた「シェンロン・ヒーリング」のアチューメントを通して、黒のドラゴンの世界に導かれたようです。

黒のドラゴンは、地底の奥深い場所で傷ついて横になっています。

お世話係りさん達は、シェンロン・ヒーリングのシェンロン達を呼び出し、黒のドラゴンにたくさんの光を送ってあげました。

4大エレメントシェンロン、光、虹、変容のシェンロン、そしてさらに高次に存在する創造のシェンロン、叡智のシェンロン、崇高のシェンロン達が、黒のドラゴンに光を送ると黒のドラゴンはとても元気になってきます。

さらにドラゴンの聖地から、この宇宙のシェンロン達の生みの親ともいえる黄金のシェンロンと白銀のシェンロンもやってきてくれました。

黒のドラゴンと彼らは、とても深い関係があるようです。

黄金のドラゴンも白銀のシェンロンも、黒のドラゴンの事をととても心配しているようで

したが、黒のドラゴンが、ネガティブなエネルギーに包まれていたために、彼を助けてあげる事ができなかつたようです。

黄金のシェンロンと白銀のシェンロンの光を、黒のドラゴンにつなげると、ドラゴンは嬉しそうに輝いています。

この3体のシェンロン達が共に活動する事によって、この宇宙のエネルギーの循環もよくなっていきそうです。

その報告を受けた後、私達もこの黒のドラゴンのもとに行きました。

やはり、黄金のドラゴン達の話によると、この地球のエネルギーを統治する者達の思い違いや過ちのために、ネガティブなエネルギーが山積してしまい、正当な働きができなくなったために困っているのを助けてほしい、との事でした。

私達は再び、高次のシェンロン達を呼び出して光を送ります。

光、虹、変容のシェンロン達がドラゴンの紋章を描き、光を送ります

崇高、叡智、創造のシェンロンも光を送ります。

黄金の女神と「宇宙の意志」も来てサポートしてくれると、シェンロン達とマスターの光によって黒のドラゴンはだいぶ回復して動けるようになりました

ドラゴン・エンパワーメントのアチューメントを行うと、光が輝き黒のドラゴンは無限のマークの8の字を描きながら飛んでいます
宇宙の崇高なるマスターやドラゴン達からの光を受けて、黒のドラゴンも次第に元気になり、元の働きを始めてくれそうです。

第3章 愛の種族と愛のシェンロン

PART1 ブラックホールに閉じ込められたシェンロン

それは、4月13日の「地球のエネルギーの浄化と安定のための祈りの会」の直前の事でした。

私は、私達の新しいメンバーのアチューメントを行っている時でした。

「ドラゴリーナさん」と呼ばれているこのメンバーは、シェンロン達との関わりが深く、最高次元のシェンロン達の中で、崇高のシェンロンと統合のシェンロンと呼ばれるシェンロン達は、彼女とのアチューメントの中で見出されてきているのです。

もちろん彼女自身のスピリットもシェンロンそのものと深い関係があり、エンジェルレイをおこなった時も、天使とシェンロンの中間的な存在である「ドラゴエル」という存在が生まれてきました。

彼女のセッションを行っているうちに、彼女が持っている大きな使命がある事に気付きました。

それは、彼女のスピリットであるシェンロンが、お兄さんのように慕うシェンロンがいたのですが、ある事故により、そのシェンロンはどこかのブラックホールに閉じ込められてしまったのです。

そしてそのシェンロンを助け出す事が、彼女にとっても大切な事だったのです。

私達は、私達の宇宙船である「フェニックス号」を呼び、スピリットとなって宇宙船でそのブラックホールに向かいます。

もちろん、私達の守護のために、4大エレメント・シェンロンと光のシェンロン、虹のシェンロン、変容のシェンロン達も一緒に飛び立ちます。

私達は、彼女のスピリットの導きのままに、宇宙空間を抜けていきます。

そして、シェンロンが閉じ込められているブラックホールの前に私達はたどり着きました。

フェニックス号には、このようなブラックホールの中でも、生命反応があれば、その場所を特定するためのレーダーが付いていますので、この中にシェンロンや生命体が生き残っているとすれば、すぐに発見する事ができます。

私達は、ブラックホールの中を進みながら、レーダーで探索していると、レーダーに大きな光が映りました。

そして、大きな光の周りに小さな光がいくつも輝いています。

どうやら、このブラックホールに閉じ込められているのは、シェンロンだけではなさそうです。

小さな光の方は、天の川銀河連合の騎士団達に救出をお願いして、私達はシェンロンと思われる大きな光の方へと向かいました。

私達が、大きな光に近付くとそれは、まぎれもなく、私達が探していたシェンロンでした。彼女のスピリットであるシェンロンは、すぐにそのシェンロンに近づき、心配そうに体を

寄せ合っています。

お兄さんシェンロンに会えた喜びとその傷ついた体の状態を憂い慮る気持ちで涙を流している様子です。

お兄さんシェンロンは、私達が来た事に気づいたのか、力なく薄眼をあけて私達を見つめていましたが、弟シェンロンが来た事を知ると安堵したように、力なく微笑みます。

私は、4大エレメント・シェンロンと光のシェンロン、虹のシェンロン、変容のシェンロン達にお願いして、このシェンロンの生命力を高め、傷を癒してもらう事にしました。

シェンロン達は、「シェンロンの紋章」と呼ぶ神聖幾何学を傷ついたシェンロンの周りにいくつも描きます。

するとそこから光が生まれ、シェンロンの周りに輝き始めます。

いくつかの「シェンロンの紋章」は、傷ついたシェンロンの体の中に吸い込まれるように入っていきます。

5大エレメント・シェンロン達は、そのシェンロンの上を旋回しながら、シェンロンの上に金粉をふらしています。

金粉も、傷ついたシェンロンの体の中にどんどん吸い込まれていきます。

するとシェンロンの体の傷は少しずつ癒され、彼の体から光が輝き始めます。

シェンロンはどんどん元気になり、彼の眼にも力がよみがえってきます。

私達は、彼に近付き、一体何が起こったのか話を聞く事にしました。

シェンロンは、まだ完全に癒えきらぬ体を私達に向け語ります。

「私達は、宇宙を旅し一つの星にたどり着きました。

そこで、私達は、その星を豊かで素晴らしいものにするために働いていたのですが、ある時異星人から突然攻撃を受けてしまいました。

私は、私達の仲間達を守るために、彼らをかばったところ、体に大きな衝撃を受けて気を失いました。

私が、目覚めると数名の仲間達とともに、このブラックホールの中に取り残されていました。

おそらく彼らの攻撃のショックにより、次元に裂け目が生まれ、私達はブラックホールに突き落とされたようです。

もし、皆さんがここにきてくれなければ、長い時間の中で朽ち果ててしまった事でしょう。

私達を助けていただき本当にありがとうございます。」

この傷ついたシェンロンは、自分達の仲間を守るために自分自身が犠牲になったようです。

私達は、シェンロンが元気になると、ともにブラックホールから出て元の星に戻る事にしました。

シェンロン以外の生命体も無事フェニックス号に連れ戻し、医療班によって手当をうけています。

PART2 シェンロンの故郷へ

私達は、シェンロンを宇宙船のシールドで包んで保護しながら、ブラックホールを抜けて

いきます。

そしてシェンロンといくつもの生命達がいた星へと向かいました。

私達が、その星に到着した時、そこは美しい緑に囲まれた星でした。

清らかな川が流れ、美しい花がさきみだれ、大きな樹木が心地よい日陰を作っています。リスのような小動物や空を舞う鳥達もいて、まるで楽園のような世界です

ブラックホールから助け出された人達は、自分達の星に帰れた事で嬉しくてみなさん抱き合っています。

しかし、この星には人類のような種族が住んでいる気配がありません。

私達がこの星の周りを宇宙船で回っても、町らしきものもありません。

もしかしたら、地下都市に住んでいる可能性もありますが、地表がこれだけ豊かな環境なので、地上に住んでいてもおかしくはありません。

その時、助け出された人々の一人が言いました。

「私達が住んでいた家が見つからないのです。

ここにいた人達がいなくなっているようです。」

彼らの間に深い落胆が広がっていきます。

私達は、地上に降り、この世界のマスターを呼び出しました。

現れたのは、丸い玉のようなマスターです。マスターは、ブラックホールから連れ出してきた人達の事も知っているようです。

「私はこの星の管理人です。

みなさんが、無事にこちらの世界に戻ってこ

られた事に深い驚きと喜びを覚えています。
この星は、異星人からの侵略を受けたあと、
たくさんのシェンロン達が出て、その修復を
行ってくれました。

しかしこの星に住んでいた人々は、修復の時
は、この星に住む事ができないので、別の次
元に移されました。」

私は、マスターに尋ねます。

「すると、彼らの仲間は、もうすでにここに
いないという事ですね。

それでは、彼らの仲間がいる場所へと私達を
連れて行ってもらえませんか。」

「私もそうしてあげたいのですが、それは私
ではできません。

私にはその権限がないのです。

できれば創造主エンソフ様をお願いしたら
いかがでしょうか。」

私は、創造主エンソフの名前がでてきた事で、
この種族が特別な役割を持っている事に気
付きしました。

創造主エンソフとは、私達が存在している天
の川銀河だけでなく、天の川銀河が属する広
大なユニバースとさらにそのユニバースが
いくつもあつまった複合宇宙(マルチバース)
を創造したマスターです。

彼らはいつも、物理的な宇宙を超えた「愛の
源の世界」と私達が呼んでいる世界にいます。

(この宇宙はすでに多次元宇宙になってい
ます。私が活躍する宇宙は、愛に向かって動
いている宇宙なので、地球の一般の人達が住
んでいる世界とは少し異なる宇宙かもしれ
ません。)

PART3 宇宙を旅する愛の種族

私は、創造主エンソフにお願いしてこの星に来てもらい、彼らの種族の事を教えてもらう事にしました。

私達の前に神々しい光とともにエンソフが現れます。

私達は、新たな宇宙の創造をともに行う仲間なので、創造主達は、私達の事いつでもサポートしてくれます。

「TAKESHIさん、皆さんがこの種族の事に気付き、愛のシェンロンを助け出してくれる日を待っていました。

そしてその日が来てくれた事に、私達は深い喜びを持っています。

この種族は、「愛の種族」と呼ばれており、この宇宙の星々を愛でつなぎます。

そして、星々に住む英知ある存在達と愛を分かち合い、愛を目覚めさせます。

そうする事で、とても美しく優しい波動を持った宇宙を作ろうとしているのです。

この種族は、愛にかかわる女神達の守護のもとに活動しています。

みなさんが、愛の源の世界で「愛のマザー」と呼んでいる存在、そして「黄金の女神」と呼んでいる存在達の意志とともに存在しているのです。

そしてあなたが、助け出してくれたシェンロンこそが、その愛のシンボルであり愛の源である「愛のシェンロン」なのです。」

エンソフは、しばらく愛のシェンロンに手を置くようにして光を送っています。

愛のシェンロンも気持ちよさそうにまどろんでいます。

「この愛の種族は、さまざまな種族によって

構成されています。

叡智ある存在だけでなく、フェアリーやホビット、ペガサスやマーメイド、もちろん特殊な天使達やシェンロン達もいます。

皆さんが名前も知らないような種族達もたくさん参加しているグループで、みんなで協力し合いながら、一つの星をたくさんの種族の愛で埋め尽くしているのです。

彼らは、直接星に降り立ち、そこでしばらくの間暮らします。

そしてもともとその星に住んでいる種族と協力し合いながら、たくさんの子孫を作ります。

その子孫達は、基本的に「愛の遺伝子」を持っている生命なので、その子孫の数が増えるにつれ、その星はさらに大きな愛に満たされていくのです。

その間、彼らは愛や正義、クリスタルや宇宙の真理について、多くの事を星の人達に教えていくのです。

そして人々が十分な知識と理性、そして愛を保つ事ができるようになると、その星と他の星々を愛のエネルギーでつなぐための光の通路を開くのです。

それが、完了したら、彼らはその星を自分達の子孫に任せて、次の星へと旅立っていきます。」

私はエンソフに、現在彼らはどこにいますか、愛のシェンロン達を彼らのもとに戻したいのですが、と尋ねます。

エンソフは、とても悲しい顔をしています。

「彼らは、実は地球にいます。

この星が異星人によって攻撃された後に、彼らは別の次元に移されましたが、愛のシェン

ロンを失う事で、彼らの活動は停滞してしまいました。

彼らは、愛のシェンロンを救い出すためにさまざまな方法を試みたようですがうまくいきません。

そこで、彼らは、未来において、自由にブラックホールを行き来できる存在が地球に生まれるという予言を信じて地球に移り住む事にしました。

地球は、彼らが来る事によって、当初素晴らしい愛の星として成長した事があります。しかし、残念ながら、地球は忘却の星です。スピリットの記憶や能力は、地球の物理次元で生きている間は使う事ができないのです。彼らは、自分達の種族の事や役割を忘れてしまい、やがて地球人に同化していきました。私は、TAKESHI さんにお問い合わせがあります。」

PART4 愛の種族と「宇宙の光」のメンバー達

「偉大なるエンソフよ、あなたの話は私にもよく理解ができます。

それで、私に何を頼みたいのですか。」

「この愛の種族を目覚めさせてほしいのです。

とてもたくさん愛の種族の人達がこの地球にやってきました。

中には、無意識の中で、自分が愛の種族である事に気付き、愛にもとづくさまざまな活動を行っている人達もたくさんいます。

また、愛の種族の中でも、もうすでにあなたと合流してともに活動を行っている人達も

います。

それが宇宙の光のメンバー達なのです。

彼らは、あなたの活動に触れる事によって、スピリットを目覚めさせられ自分達の能力をたかめ、自分達の使命を思い出していきます。

たとえ、「宇宙の光」を離れたとしても、その目覚めは続いていきます。

私は、あなたに、もっと多くの人達を目覚めさせていたきたいのです。

そして彼らが、愛の種族の重要なメンバーであり、この地球だけでなく多くの星々と世界に愛をもたらすために存在している事を思い出させてほしいのです。」

「エンソフよ、わかりました。

私もそのつもりで、ずっとこの「宇宙の光」の活動を続けてきましたし、この活動を通して、さまざまな能力や知恵を与えられましたので、私のスピリットも今まで以上に目覚めてきています。

私は、その目覚めと愛を多くの人達に分かち合う事としましょう。

そして、エンソフよ、私達がこれ以上の活動をするために、さらに必要な事はありますか。」

「TAKESHI さん、あなたの気持をとてもうれしく思います。

一つ必要なものがあります。

それは、愛の種族を生み出した愛の光が凝縮した「愛のコード」があります。

それを使う事により、あなた方の目覚めはさらに早く、そして深くなる事でしょう。

それでは、あなた達を愛の種族を生み出した愛の根源へとお連れしましょう」

PART5 愛の女神からいただいた「愛のコード」

私達は、エンソフとともに、この宇宙の次元をどんどん上がっていきます。

星々の間を通り抜け、ユニバースの壁もマルチバースの壁も通り抜けていきます。

そして、物理的な世界に創造された宇宙を通り抜け、エンソフ達がいつもいる「愛の源」の世界も越えていきます。

私達もエンソフもさらに高次元の光にどんどん引っ張られていくようです。

私達は、デバイン・マスターの世界もセントラル種族の世界も越えていきます。

この世界は、非物理的な世界でとても次元の高いスピリチュアルな世界ですが、それも越えていきます。

私達は、今までたどり着いた最高次元である「宇宙の意志」と「黄金の女神」の世界に入ります。

この世界は、物理次元およびスピリチュアル次元においてすべての創造をつかさどっている世界です。

私はこの世界で、止まるのかと思っていると、私達はさらに高くあがります。

「宇宙の意志」と「黄金の女神」もともに見守っていますし、崇高のシェンロンとさらにその上の次元にいる統合のシェンロン達も様子を見に来ています。

私達は、圧倒的なエネルギーの渦の中に入りました。

体全身がしびれるくらい大きくて強いエネルギーです。

この圧倒的なエネルギーは、宇宙を創造する「愛の力」そのものです。

「宇宙の意志」も「黄金の女神」もその一部であるようです。

女神の意志が、私達の心の中に流れ込んできます。

「TAKESHIさん、そして皆さん、よくここまで来ていただきました。

心から感謝します。

どうか、私達の愛による創造のエネルギーをしっかりと受け止めてください。

皆さんが、日々愛に基づいて行動していただけている事を、私達は心から嬉しく思っています。

今回、皆さんが企画された祈りの会も、皆さんのハートの中からとても大きな愛があふれ出している事に気付かされます。

皆さんの愛は、さらに多くの人達の愛を目覚めさせる事でしょう。

そしてその愛が一つにつながる事によって、皆さんの地球だけでなく、多くの星々や宇宙が愛に満たされていく事でしょう。

私達の大切な子ども達が持つ愛の力は、とても素晴らしく尊いものです。

どうか、皆さんの心の中にある愛を目覚めさせてください。」

私達は、愛の女神の光の中に深く満たされて、愛の中に溶けていきます。

「愛の女神よ、あなたに出会えた事に私達はとても大きな喜びと感謝を感じています。

私達は、あなたの光を地球だけでなく、この宇宙にもつなげたいと思います。

どうか私達に、あなたの愛の光をつなぐ事をお許してください。」

「TAKESHIさん、もちろんですよ。
あなたはもともと私と一つの存在だったので、その事を思い出すだけで、私は、あなたと常に共にいる事ができるのです。私の光を、どうか地球と宇宙にしっかりとつなげてください。」

私は、愛の女神から「愛のコード」を受け取ると、ユニバーサルパレスに向かいました。ここは、このユニバースに属する銀河や星団達のマスターが集まっている場所です。私は、愛の女神をこのパレスに集まっているマスター達につないでいきます。そしてマスター達はその光を各銀河や星団につないでいきます。

私達のスピリットは、その後地球に戻ります。4月13日の夜22時から予定している祈りの会の2時間前でした。私はこの光を、祈りの会の言葉につないで、この祈りの言葉を読んできた人全員が、愛の女神と深くつながる事ができるようにしました。

愛の女神の光は、祈りの会に参加してくれた皆さんの心を大きくて深い愛で満たす事でしょう。そしてその愛は参加者一人一人の愛と一つになって、この地球にあふれ出していく事でしょう。

地球もそして地球以外の星も、すべてが尊い愛によって包まれるように、祈りを込めて、祈りの会を行う事ができます。

第4章 シェンロンの神聖な 愛

PART1 新たなシェンロン（神龍）のアチューメント

私達はこの時まで、シェンロン・ヒーリングとシェンロン・アチューメントの2つのアチューメントを完成していましたが、やがて、この黒のドラゴンとその後、あらわれてくる愛のシェンロンによって新たなアチューメントが生まれる事となりました。

そのアチューメントは、この地球で活躍する多くのドラゴンの魂を持っている人々を癒し、目覚めさせるものになるであろうという事でした。

私が作るアチューメントは、かなりレベルが高い人でないと理解できないときもありますので、あまりスピリチュアルに詳しくない人も受け止める事ができるようなアチューメントにしてほしいようです。

私は、この新たなアチューメントを支えるマスターとシェンロンはいますか、と尋ねました。

すると、一人の仙人風のマスターと先日救出した黒のドラゴンが現れました。

マスターは自らを、ドラゴン達を束ねるものであると伝えてきます。

「私は、この地球にいるドラゴンの魂を持つ者達を見守っている存在です。

この地球に転生してきた人々の中にもドラゴンの魂を持つ者もいます。

また、地球のために、地球のエネルギーを調整する役目や地球の自然やその土地のエネルギーを守る役目を持つドラゴン達もいますので、私がその面倒を見ています。」

私は、このマスターとお会いするのは初めてですが、そのような役割を持つマスターがいてくださる事に安心感を持ちます。

そして、先日助けた黒のドラゴンは、アース・シェンロンと名前を変え、地球のドラゴンやドラゴンの意識を持つ人々を目覚めさせる役割を担う事となったようです。

私は、さらに愛のシェンロンを呼び出しました。

愛のシェンロンは、人間だけでなくドラゴンやホビット、フェアリー達にも愛のエネルギーを目覚めさせる事ができるシェンロンです。

今回、目覚めていく人々の多くが、おそらく「愛の種族」と呼ばれる人達となる事でしょう。

その為には、愛のシェンロンの力がどうしても必要となります。

「愛のシェンロンよ、今回作るアチューメントには、どうしても、あなたの力がが必要です。アース・シェンロンとともに、この地球に暮らしている「愛の種族」を目覚めさせてください。」

と私は、愛のシェンロンにおねがいしました。

私も、先日この宇宙の創造主であるエンソフから、この地球にたくさんの愛の種族が来ている事を聞いています。

そして、その多くが目覚めておらず、自分自身の大切な使命を果たす事ができていないので、愛の種族のメンバー達を目覚めさせて

ほしいとお願いされていたのです。

私達は、このアチューメントが、愛の種族の目覚めに対してとても有効な働きをするであると期待しています。

PART2 愛のシェンロンからのメッセージ

私は後日、愛のシェンロンから、このアチューメントに関するメッセージをいただきましたのでここにご紹介いたします。

私は皆さんが、この地球で生きていく中で忘れかけている「調和と優しさ」のエネルギーを再び皆さんに思い起させます。

皆さんは本来すぐれた「愛の結晶」そのものです。

皆さんは、この宇宙の創造の力によって生み出された偉大なスピリット達です。

しかし皆さんは、この地球の日々の生活の中で、皆さんの本質であるスピリットの存在を忘れようとしています。

皆さんのスピリットは、地球に生きる多くの生命達を愛するために、この地球にやってきました。

皆さんがもし、注意深く自分の事を見つめるならば、皆さんの心の中に、小さな動物達や美しい植物、そして自分の家族達を見守り育てていく、あふれるばかりの愛に気づく事でしょう。

しかしながら、皆さんが生きている社会は、さまざまな抑圧や競争、そして奪い合う事を

当然とする経済から成り立っています。
その中で生きていくためには、皆さんは自分自身の優しさや他の生命に対する思いやりの気持ちを捨てて戦っていかなければなりません。

その結果、自分自身を守るためにこの世界に対して閉鎖的になり、自分の本質を押し殺して生きている人達もたくさんいる事でしょう。

今の生活や仕事の環境は、急には変える事ができないかもしれません。

しかし、あなたの中にある「愛の力」を見失わないでください。

それは、あなたがこの地球で生きていく目的であり、証なのです。

あなたが「愛の力」に目覚める時、あなたは深く癒され、その心と魂も自由にはばたかせてあげる事ができます。

あなたの愛の力によって、あなたと関わる多くの人々も癒され、さらに目覚めていく事となるでしょう。

この世界がたとえ制限が大きく、自分の自由にならない世界であったとしても、あなたは自分の心の内側で、自らを深く癒し、安らぎと調和を持って生きていく事ができます。

あなたが働いている場所、生活している場所で、あなたが十分に理解されず苦しめられていたとしても、あなたの中の愛が輝く事によって、あなたの本質である、スピリットが目覚め、あなたの環境が変化していきます。

あなたは、あなたの内なるスピリットと一つになる事によって、この地球の制限の多い世

界から、解き放たれていく事でしょう。

私達シェンロン（神龍）一族も、あなたを宇宙の大きな愛で癒し、目覚めさせていきます。たとえあなたがどのような苦しみの中にあつたとしても、自らの「内なる愛」を輝かせる事により、あなたは癒され、そして自らの人生を新たに創造していく事を可能としていきます。

決して、自分が変わっていく事を恐れないでください。

あなたは、今この地球の物理的な世界しか見えていないかもしれませんが、あなたの意識を私達に向けてください。

私達、シェンロンは、この宇宙を形作るエネルギーです。

皆さんの体や意識だけでなく、皆さんのスピリットにも豊かな光を与える事でできます。その光によって、皆さんは今まで見る事もできなかった、あなたの本質である「愛の力」やスピリットが持っている素晴らしい叡智に気づいていく事でしょう。

しかし、あなたが今のままの自分でよいと考えているならば、私達はあなたをサポートする必要はないでしょう。

しかし、あなたが少しでも、自分自身を癒したい、この苦しみや悲しみから逃れたい、もっと自由に自分自身の才能を開き、才能をきわだたせたいと思っていいたら、私達は、あなたに素晴らしい叡智とパワーを授けましょう。

そして、あなたの本質である「愛」を目覚めさせてください。」

PART3 ドラゴンからシェンロンへ

また合わせて、私達は、今まで高次の存在であるドラゴンに対しても、「ドラゴン」という一般的な名称を用いていましたが、創造主クラスのドラゴンに対しては、神龍（シェンロン）という名前を用いるように指示されましたので、呼び名も今回から変更させていただいております。

今回のシェンロン・シリーズのアチューメントを支えるシェンロンは、通常のシェンロンの種族ではなく、この宇宙の創造主や神々とともに働く存在達であり、より高次の宇宙エネルギーと深くつながっています。

皆さんにはドラゴンといった方がわかりやすいかもしれませんが、ドラゴンという言葉を使うと西洋映画に出てくる破壊的で荒々しい存在を想像する人達もいますので、今回はシェンロン（神龍もしくは神龍）という言葉を使用させていただきます。

私は、神々の働きを持つ龍（シェンロン）という意味で神龍（しんりゅう・シェンロン）という言葉を使用したいと思っていますし、また、シェンロン達もそのように願っているようです。

シェンロンというと鳥山明さんの「ドラゴンボール」に出てくるシェンロンを思い浮かべる人もいるかと思いますが、割と近いイメージだと思います。

人間の願いをかなえてくれるシェンロンの姿は、とても威厳に満ちたものがあります。

本来シェンロンや神龍は、この宇宙の創造と運営に深く関わっている存在です。

私は、さまざまなレベルのシェンロン（ドラゴン）を見てきました。

この地球においても、神社や聖地などに存在しているドラゴンは良く「神龍様」と呼ばれています。

この神龍は、神社などの神聖なる場所のエネルギーを支え、それを守護します。

そしてその神聖なエネルギーに触れた人々は、自分自身のエネルギーが活性化され、自分の願いなどもかないやすくなります。

基本的なシェンロンの性格は、そのように宇宙のエネルギーの象徴として、その土地にエネルギーを生み出し、そこに生きる動植物達の生命を守護するものです。

西洋の映画で、ドラゴン達が悪者にされた理由は、欲深い人間達が、神聖な土地に無断で入り込み、動植物達を傷つけ、そこにある宝物や資源を奪う事で、ドラゴン達との間に争いが起こるからです。

本来は優しく慈悲深いドラゴン達を、自己中心的な人間達の勝手な振る舞いで怒らせてしまうのです。

シェンロンやドラゴン達は、基本的にはとても慈悲深くて優しい存在で、深い叡智と大きな愛を持っています。

それは、彼等が、そのような性質を持つ「宇宙の創造のエネルギー」から生まれ、常にそのエネルギーと共に在るからです。

シェンロン達は、地球の一つの地域を守るだけでなく、この地球そのものの生命を守り、地球の動植物を生み育てているエネルギーそのものです。

もちろん、我々人類も彼らの手によって生かされ守護されています。

しかしシェンロン達の働きは、地球だけにとどまるものではありません。

私達が住む太陽系はもちろん、天の川銀河のいくつもの星々や星座の中にもさらに偉大なシェンロン（ドラゴン）が存在しその星々を守っています。

またいくつもの星々に、創造のエネルギーや光を運ぶ働きをするシェンロン達もたくさん存在しています。

また天の川銀河全体やさらにその上位であるユニバース全体を守るシェンロンもいます。

私達が今回、このシェンロン・シリーズで呼び出すシェンロン達は、この宇宙の創造のエネルギーの源となるような創造主達とともに働くレベルのシェンロン達です。

またシェンロン達は、私達一人一人を守護し導く事もあります。

私達のスピリットととても関係の深いシェンロンが存在し、皆さんが自分自身の事だけでなく、この地球や地球に住む多くの生命達のために働こうとする時、そのシェンロンはとても喜んで、あなたの前に姿を現してくれる事でしょう。

そして、あなたの能力を高め、あなたを守護し導く事でしょう。

PART1 地球のドラゴン達の癒し

2015年の4月後半、シェンロン・ヒーリングのアチューメントが始まりました。しかし、このアチューメントは、私達自身の浄化と癒しだけでなく、この地球の浄化と癒しを伴う事となりました。

それは、お世話係りさんへの直伝が続いた時の事でした。

私達は、「シェンロンの神聖なる愛」のマスターからお願いされて、地球上に存在するドラゴン達の癒しと活性化を行う事になりました。

まさにドラゴン達のための、シェンロン・ヒーリングのアチューメントを行う事になりました。

私達が地球のドラゴン達に呼びかけると、大変な数のドラゴン達が空を埋め尽くさんばかりに集まってきます。

あまりにもたくさんさんのドラゴン達が来るので、私達は3回に分けてドラゴン達に光を送る事となりました。

最初に4大エレメントのシェンロン達を召喚して、土、火、水、風のシェンロンを、ドラゴン達の四方に配置して光を送ってもらいます。

続けて、光、虹、変容のシェンロン、叡智、創造、崇高のシェンロンを呼び、ドラゴン達のためにドラゴンの紋章（神聖幾何学）を描いてもらい光を送ります。

さらに愛の種族を守る愛のシェンロン、アー

ス・シェンロンを呼び、シェンロンの愛を送るとともに、ドラゴンの紋章（神聖幾何学）を描いていただき、ドラゴン達の波動を高めて下さるようお願いしました。

沢山のドラゴン達が、光を受け取って、とても幸せそうな表情を浮かべています。

光を受け取っているドラゴン達の表情が、光をあびて、さらに壮観な姿にキラキラと光を帯びています。

それに伴い、瞳の輝きが、とても美しくなっているのを感じました。

PART2 琵琶湖の白いドラゴン

私達は、ドラゴン達への光を送り終わると、大地震の発生が心配される日本と地球に対して光を送る事にしました。

シェンロン・ヒーリングを受けてさらにパワーアップしたドラゴン達も、全員協力して地球を取り囲み、光を送る事となりました。

土、火、水、風のシェンロンのまわりに、光、虹、変容のシェンロン、その回りに、叡智、創造、変容のシェンロンが回りを囲んでいます。

愛の種族を守る愛のシェンロンと地球のドラゴン達を目覚めさせるアース・シェンロンも光を送ります。

そして黄金の女神様と今回新たな宇宙の創造のために現れた「ダイヤモンド」の女神様、宇宙の意思も協力していただき、地球に光を降ろして下さいました。

地球に光を降ろしているときに、場所によっては、渦をまくようなエネルギーで、光が降りていくのがみえました。

その渦の中でも、ひときわ大きな渦が、日本の琵琶湖のところに降りているようでした。私達が気になって、その場所に降りると。そこでは、白いドラゴンが、力なく横たわっています。

どうやら、日本の大きなエネルギーの渦が、この琵琶湖にあるようで、この場所を守っているドラゴンのようです。

私は、この弱っているドラゴンの代わりに、この場所を守ってくれるドラゴンがいなかっただけをお願いしました。

すると3体のドラゴンが、先ほどの白いドラゴンを取り囲むように現れました。

そのドラゴン達のそばには、女神様がいらっしゃいます。

女神様とドラゴン達は、傷ついた白いドラゴンに光を送って下さいました。

私達も高次のシェンロン達の光をここに集めて送ると、白いドラゴンは、少しずつ元気を取り戻していきます。

琵琶湖のドラゴン達が、なぜ元気がなかったかというと、日本の中心で、大地の揺れを感じ取って、その揺れを最小限にしようと活動していた事をうかがいました。

琵琶湖のドラゴン達が、元気になっていくと、日本のドラゴンの道が、見えてきました。

琵琶湖のドラゴンは日本のドラゴン達のちょうど中心軸にいらっしゃって守っているようです。

その道に沿って、沢山のドラゴン達が光をつなげていきます。

日本全体に光が満たされると、スサノオ様、大国主様、天照大御神様が現れてきました。そして日本全体にシールドを張るように、ス

サノオ様達も動いています。

PART3 地球の地殻を守るドラゴン

次のシェンロン・ヒーリングのアチューメントが始まると、私達は、地球のコアとも呼ぶべき地殻の中心に来るように言われました。特別な通路を使って岩盤の間を抜けると、そこには地球のコアのエネルギーを調整するドラゴンが待っていました。

しかしそのドラゴンも、とても大きなドロドロとしたエネルギーの中にもうずもれるようにして動きが取れないようです。

そのドラゴンは、地球の地殻に影響を与えるエネルギーを浄化し循環させるためのドラゴンでしたが、あまりにもたくさんのネガティブな意識につかまってしまい、エネルギーを浄化する事も循環させる事もできなくなってしまったようです。

私達は、先日のアチューメントの時に活性化したドラゴン達を呼び寄せました。

すると数えきれないほどのドラゴン達が現れ、このドロドロとしたエネルギーを凄い勢いで食べ始めました。

ドラゴンのお腹の中に、ドロドロしたものが入っていくと、それは光と変わり、周りに広がり循環していきます。

その様子を私達はしばらく見ていましたが、高次のシェンロン達にも手伝ってもらおう事にしました。

4大エレメント・ドラゴン達を呼び、この地殻のエネルギーを調整してもらうとともに、まだまだ残っているネガティブなエネルギー

ーを浄化してもらいます。

そして光のシェンロン、虹のシェンロン、変容のシェンロンも浄化とエネルギーの変容のための光を送ります。

もちろん、創造・叡智・崇高のシェンロンも現れ、傷ついたドラゴンに対して光を送っています。

やがて地殻の周りにあふれていたネガティブなエネルギーもだいぶきれいに浄化されていきました。

このコアを守っていたドラゴンが私達に向かって話し始めます。

「皆さんが、このコアのネガティブなエネルギーを浄化してくださって、大変助かっています。

このエネルギーは、皆さん人類の潜在意識によって形作られたものです。

皆さんの思いが、自己中心的なものになればなるほど、怒りや苦しみや妬みなどのエネルギーが増加し、地球のエネルギーは変質していきます。

そのように変質したエネルギーは、自然の循環の輪から離れ、このようにどろどろとしたものに変わっていくのです。

皆さんは、この地殻のエネルギーを調整する事なしには、この地球を進化させたり、ここから新しい宇宙を生み出す事はできないのです。

皆さんは、自分達が発しているエネルギーに対して無責任です。

時々ここにきて、光を送れば良い！などという考えでは、この場所は何も変わらないのです。」

私達は、この地球のコアを守っていたドラゴ

ンから大変なお叱りを受けてしまいました。しかし、今この日本や地球で起こっている事件や争いを考えるならば、それももっともな事です。

子供達が同じ子供達を殺したり、親が子供を殺したり、もっとも純粋な愛を持つべき存在達が、その愛を持たずに狂気へと走っているのが現状です。

私達は、自分の身の回りの事もそうですが、もっと地球に愛を送っていかねばならないのです。

私達は、このドラゴンと話をして、この場所にたくさんのドラゴン達を配置する事にしました。

そして、特別な方法で、この場所に光のグリットを形成してもらいます。

これはネガティブなエネルギーを効率よく、浄化するためのシステムです。

そして、常に高次のシェンロン達の光が、この場所に満たされるようお願いしてきました。

というのも、この地球の地殻には、新しい宇宙へとつながる大切なゲートがあり、この地殻がある程度安定していなければ、そのゲートが不安定になってしまう恐れがあります。

PART4 地殻の中心にあるクリスタルを守るシェンロン

同じ 25 日の夜にもアチューメントが行われますが、実は大変気になっていた事があります。

それは、私達が、この日の午前中に、地球のコアでエネルギーの浄化した頃に、ネパールでの大地震が起きていたのです。

その事をインターネットのニュースで聞いたとき、私達の心はとてもつらいものがありました。

アチューメントが始まると、私達はすぐに、地球のコアに入りました。

午前中にエネルギーを送ったドラゴンは、とても疲れた様子でぐったりとしています。

そして周りにもたくさんのドラゴン達が、力を使い果たしたのか、力なく横たわっています。

私達は、すぐに高次のシェンロン達を呼んで、このドラゴン達に光を送ってもらいます。

私達はすぐに、先ほどのドラゴンにちかづき、大丈夫ですか、と声をかけました。

ドラゴンは力なくうなずき、「皆さんのおかげで、地震のエネルギーをだいぶ抑える事ができました。

それでも大きな地震になった事は残念な事ですが、私達にできる事は、精いっぱい行いました。

皆さん本当にありがとうございました。

そして地震を抑える事ができずに大変申し訳ありませんでした。」

そしてドラゴンは、目を閉じ、体を癒しの光にゆだねています。

ドラゴン達は、あの後すぐに起こった地震の被害を少なくするために、全力で守っていたようです。

度重なる余震にも、力をあわせてそのエネルギーを浄化し、少しでも小さな地震になるように努力してくれたようです。

私はドラゴン達の姿を見て涙が出てきました。

本当は、私達こそ、ドラゴン達に謝らなくては
いけないのに・・・

私達は、その場を高次のシェンロン達に任せて、
コアの奥へと進みました。

何かその奥に大切なものがあり、いかなければ
ならないような気がしたからです。

私達が進むと、そこにはこの地球のコアを守る
大きなクリスタルととても巨大なシェン
ロンがいます。

そして驚いた事に、そのシェンロンは、私の
スピリットの分身でもある「エルエル」だっ
たのです。

エルエルは、一度巨大なネガティブなエネル
ギーから、地球を守るために、自分の身を犠
牲にして死んでしまった事があります。

その後、りゅう座のマスター・シェンロンの
もとで生まれ変わり、しばらく行動を共にし
ていましたが、最近様子を見ていませんで
した。

「エルエルよ、どうしてここにいるのですか、
ここで何をしているのですか。」

私は、エルエルに訪ねます。

「TAKESHI さん、ここは地球にとっても、
また天の川銀河や宇宙にとっても大切な場
所なのです。

地球は、ただの惑星ではなく、この宇宙にと
っては無くてはならない存在なのです。

そしてこの場所は、地球と他の星々や新たな
宇宙をつなぐためのゲートとなっている場
所なのです。

このクリスタルによって、地球は他の星々や
次元とつながっているのです。

この大切なクリスタルは、TAKESHI さんと

関係の深いシェンロンでないと守れないのです。」

もしかしたら、私が、地球の多次元の通路を使用して、さまざまな世界に行けるのは、このクリスタルの力によるものかもしれません。

エルエルは、そのような大切な場所を、自分達が守っている事を、私に知らせたかったようです。

私達は、ここにも高次の光をつないでいきます。

ここは、私達が新たな地球、新たな宇宙へと行くための大切な通路のようです。

第6章 新たな宇宙の創造

PART1 巣別れしていく宇宙

シェンロン・ヒーリングのアチューメントもそうですが、新しく参加された方のサポート・アチューメントが進むにつれ、私達は、現在私達が住んでいる宇宙とは異なる宇宙に招かれる事となりました。

地球は良くパラレルワールドになっているといわれています。

私達が未来の地球を見ても、大きく4つの地球に分かれている事がわかります。

マスター達が活動する光輝くスピリチュアルな地球、そしてフェアリー達が創造する豊かで美しい楽園のような地球、環境破壊を経験しながらも地下都市を作って人間達が生き残っている地球、そして環境破壊によって人々が住めなくなってしまった地球。

それは、この地球と同じ時間軸にあって、その人の波動や意識によって行く世界が分かれるようです。

もちろんこれ以外にも、いくつものパラレルワールドがあるかもしれません。

しかし、今回、私がお話しする世界は、現在の地球を含めた宇宙から新たに生み出される別の宇宙のようです。

ちょうど、私の家で巣を作って暮らしているミツバチ達が、最近巣別れをしました。

新しく生まれた女王蜂とともに、たくさんのミツバチ達が、今までの巣から飛び立ち、新たな巣を作りました。

もしかしたら、このように現在の宇宙から、

新たな宇宙が巣別れするように分かれて、そこに新しい宇宙が出来上がっていくのかもしれない。

マスターや創造主からは、新しい宇宙が生まれるという事はたびたび聞かされていたのですが、実際のところ、まだそれほど大きな動きにはなっていませんでした。

ところが、この数日その動きが大変大きくなってきました。

PART2 ダイヤモンドの女神の登場

私達が、ライトボディ7のアチューメントを行っている時に、黄金の女神と「宇宙の意志」に会いに行きますが、その時、黄金の女神の前に、一人の新たな女神が現れました。

白銀の輝きをもつ非常に澄み渡った女神ですので、私はダイヤモンドの女神とお呼びする事にしました。

私は、初めてあった女神に、その役割を尋ねました。

「私は、黄金の女神や「宇宙の意志」とともに働いています。

共に協力し合いながら、新たな宇宙を創造し宇宙を素晴らしいものに育て行く事が私の仕事です。

今回皆さんのお力をお借りして、新たな宇宙が生まれようとしていますので、皆さんと共に活動するために、皆さんの前に現れました。」

どうやら、このダイヤモンドの女神は、新たな宇宙の創造を行う事が役目らしく、私を見て、にっこりとほほ笑みます。

それからしばらくしないうちに、私達は新たな宇宙に行く事となりました。

私達は、フェニックス号に乗って導かれるまま、その世界にやってきました。

そして、そこではフェアリー達が楽しそうに働いています。

フェアリーのリーダーの様な女神が、私達を出迎えてくれました。

「ここまだ、出来上がってはいない星ですが、今はフェアリー達が一生懸命に働いてくれていますよ。」

私が様子を見ていても、とても忙しそうでしたので、私は、何かお手伝いする事がありますか、と尋ねました。

「そうですね、もっとたくさんの仲間達がいてくれると仕事はかどるのだけど・・・」

「そうですね、それでは、ここに新たな種族を作りましょう。」

と私は言って、先日お会いしたダイヤモンドの女神に来ていただきました。

「偉大なるダイヤモンドの女神よ。

今日は、あなたにお願いがあります。

この新しい宇宙には、もう少し仲間達が必要なようです。

あなたの力をお借りして、この新しい宇宙に必要な種族を増やしてもらえませんか、お願いいたします。」

「そうですね TAKESHI さん、もう少し仲間がいたほうがよさそうですね。」とダイヤモンドの女神も答えてくれます。

私達は、相談しあって、フェアリーの種族、ペガサスの種族、ドラゴンの種族を作る事にしました。

フェアリーの女神と私、そしてダイヤモンドの女神の遺伝子から、ダイヤモンド・フェアリーが生み出されました。

そして、同じく、ペガサスと私とダイヤモンドの女神からダイヤモンド・ペガサスやダイヤモンド・ドラゴンも生み出され、この宇宙の創造に向けて協力し合う事となりました。

そしてこの様子を見ていたホビット達の数名が、ここに残る事になりました。

ホビット達は、私達が帰る時には、とても楽しそうに手を振って、「また遊びに来てね！」と叫んでいました。

これが、私達の最初の訪問となりました。

次にこの宇宙に来たのは、シェンロン・ヒーリングの直伝の時です。

この新しい宇宙を訪ねたとき、その世界を見守っていたのはダイヤモンドの女神、黄金の女神、そして「宇宙の意志」の3人組でした。

少しずつ出来上がっていく宇宙空間を、彼らは見つめています。

私は、新しい宇宙は、現在どのような段階にあるのですかと、彼らに尋ねます。

すると彼らは、この新しい宇宙はまだ最初の過程で、宇宙の土台を作っているところです。この宇宙のスケールは大きいので、まず宇宙を生み出すための次元と空間を固める必要があるので、その作業を行っている事を教えてくださいました。

この宇宙には、さらに新しい仲間達も増えてきたという事で、今まで以上に速いスピードで宇宙の創造が行われていく事でしょう。私達は、これから宇宙の創造に必要な叡智が詰まった箱を手渡してもらいました。

PART3 正気に戻った金色のドラゴン

新しい宇宙の創造のために大切な仲間が増えました。

しかも、とても思いがけない方法で、その仲間は表れてきました。

これは、宇宙の光のメンバーのために「大天使ミカエル」のアチューメントを行っていた時の事です。

アチューメントを受けてくださった方は、新しい子供が生まれてくる時期に、自分達の身の周りで不快な心霊現象が続く事に心を悩ませていました。

お子さんは無事に生まれたのですが、やはり子供の事を考えると心配で、大天使ミカエルに守護をお願いしたかったようです。

私達は大天使ミカエルと共に、その心霊現象を引き起こしている原因を調べるために、その心霊現象を引き起こしている存在があれば、その存在を明らかにしてもらえるようお願いしました。

大天使ミカエルは、しばらく考えているようでしたが、アチューメントをお願いしたメンバーの心の中に、荒れ狂うドラゴンの姿が見えてきました。

彼はそのドラゴンの姿を見て、いくつもの頭がある事から、多頭龍であるヒドラを連想したようです。

私達は、フェニックス号を呼んで、仲間とともにそのヒドラのもとに行き、荒れ狂うヒドラをおとなしくさせる事にしました。

恐らく、私の考えでは、首の根元のところに、このドラゴンの性格を狂わせ、コントロール

するための遺伝子チップが埋め込まれているはずです。

ドラゴン達が理由もなく暴れるのは、誰かにコントロールされている時だけです。

しかし、このドラゴンの近くに来て驚きました。

このドラゴンの大きさとパワーは今までのドラゴンと比べても、けた違いに大きいのです。

きっと大切な役目を持つシエンロン・クラス
のドラゴンである事は間違いないようです。

私は、このヒドラを安全に処理するために、
宇宙の魔法使いとセントジャーメインを呼
び出し、時間を止めるようにお願いしました。
時間を止めて動かないようにしたうえでな
いと、この巨大でパワフルなドラゴンに近づ
くのはあまりにも危険です。

魔法使い達は、すぐにヒドラの時間を止めま
した。

そして、近くで待機していた、天の川銀河連
合の騎士団達が、一斉にヒドラを取り囲み、
首の近くを中心に遺伝子チップを探します。

やがて 1 個また 1 個と遺伝子チップが見つ
かりました。

恐らく首の数と同じ数だけあるはずなので、
4 個はあるはずです。

天の川銀河連合の騎士団がチップを探して
いる間に、高次のシェンロン達が降りてきて、
このヒドラの周りにドラゴンの紋章を描き
始めます。

騎士団がすべての遺伝子チップを発見し抜
き取りました。

その遺伝子チップを、宇宙の魔法使いに見せ

ると、やはり想像通り「黒のウイングの分身」によるものである事がわかりました。

彼は、私達の手で正気を取り戻し、黒のウイングとの再統合を行っているので、もうすでに存在しませんが、彼が作った遺伝子チップを埋め込まれて、正気を失ったまま、荒れ狂っている存在達はまだ残っているようです。

遺伝子チップが取り去られ正気に戻ったドラゴンを、高次のシェンロン達が光を送って癒し元気づけています。

ドラゴンから凶暴なエネルギーがどんどんなくなって、代わりに優しく上品なエネルギーが満ち溢れてきます。

私は、ドラゴンに向けて話しかけます。

恐らく、遺伝子チップがはめられた後の事は、覚えていない事が多いので、私は、彼がどのような状態であったかという事を簡単に話しました。

しかしわからないのは、1人の人間の子供が生まれる事に対して、なぜそのような心霊現象などをおこして、出産を妨害したかったのか、という事です。

私は、宇宙の魔法使いに、その件について聞いてみました。

「おそらく、新しく生まれてくる子供達の中には、特別な使命や役割、エネルギーを持って生まれてくる子供達が存在します。

その方が、皆さんの仲間なら、そのような特別な任務を持った子供が生まれたとしても不思議ではありません。

恐らく、その子が生まれる事を妨害したかったかもしれませんが、皆さんを守護しているマスター達によって子供は守られていたと

思います。」

私は、正気を取り戻したドラゴンと少し話をする事にしました。

ドラゴンは、自分が行ってきたあまりにも愚かな行動に愕然としている様子ですが、私が前に立つと少しずつ自分の事を話はじめました。

「本当にすみません。

いくら自分が正気を失っていたとはいえ、私が行ってきた事は許されるものではありません。

どうかわたしを罰してください。」

ドラゴンの目に涙がうかびます。

「ドラゴンよ、私はあなたを罰する立場にある者ではありません。

あなたが元の清く正しいドラゴンに戻り、あなたがなすべき仕事をしてくだされば、それでよいのです。

それで、あなたがもともと行っていた仕事とはなんですか、私に教えてください。」

「私は、宇宙の創造の役目を担ってきました。新たな星、新たな銀河、新たな生命、新たな時間、それを創造する事が私の仕事です。」

私は内心驚きました。

この仕事とは、ダイヤモンドの女神達が担っている仕事なのですが、もしかしたら、このドラゴンは彼女達の仕事に関わっているドラゴンなのではないでしょうか。

「それでは、あなたは、私達が黄金の女神や「宇宙の意志」と呼んでいるマスター達をご存知ですか。」

ドラゴンの目に輝きが戻ってきます。

「もちろんです、私は彼女達の僕（しもべ）

です。」

「わかりました。

それでは、私達は黄金の女神達のもとに戻る事にしましょう。

しかしその前に、あなたが迷惑をかけた彼の家族に何か償いをしたらどうでしょうか。」

ドラゴンは、しばらく考えていたようですが、やがて小さなドラゴンを一体生み出しました。

とてもかわいいのですが、聡明そうな表情をしています。

「このドラゴンは、私の分身ですが、これから、彼の家族を守護するようにさせましょう。特にお子様を守護し導くようにいたしましょう。」

小さなドラゴンを貰ったメンバーも、何がどうなっているのかよくわからないようですが、ドラゴンは気に入ったようです。

PART4 三位一体のドラゴン

私達は、このドラゴンを連れて、黄金の女神、ダイヤモンドの女神のところに戻ってきました。

この時はすでに、このドラゴンは金色のシェンロンと姿を変えていました。

このシェンロンを見た黄金の女神もダイヤモンドの女神も大喜びです。

まるで、いなくなった子供が突然家に帰ってきたような状態です。

黄金の女神もダイヤモンドの女神も金色のドラゴンに寄り添うようにして話しかけています。

「宇宙の意志」が私に話しかけてきます。

「TAKESHIさん、この黄金のシェンロンを助けてくださって本当にありがとうございます。

このシェンロンは、私達の大切な仲間で、宇宙を創造したり運営したりするためにはなくてはならない存在です。

彼が戻ってきた事で、あなた方が新たに創造している宇宙もさらにスムーズに仕事が行われていく事でしょう。

黄金の女神もダイヤモンドの女神も彼をずっと探していたようですが、助け出す事ができなかつたようです。

TAKESHIさん、本当にありがとうございます。」

するとそこに奇妙な姿をしたシェンロンが現れます。

白色とクリーム色がまじりあつたようなシェンロンです。

しばらくの間、形をさまざまに変化させていましたが、やがて白のシェンロンとクリーム色のシェンロンに別れました。

「宇宙の意志」が、このシェンロン達について説明してくれます。

「このシェンロン達は、金色のシェンロンの仲間で、共に宇宙の創造の仕事を行ってくれます。

白色のシェンロンは、必要に応じて様々なシェンロンを生み出したり統合したりします。また、目的に応じてシェンロンの能力を活性化する事も行います。

クリーム色のシェンロンは、どこにでも自由に行く事ができますので、宇宙のさまざまな場所を調査したり、問題が起こつた場所に赴

きその原因や解決法を調査する事もできます。

彼らは、一つのチームを作り、私達が、宇宙の創造や星々の創造を行う事をサポートしているのです。」

金色のシェンロンは、白のシェンロンとクリーム色のシェンロンを見ると、とてもうれしいのか体を大きく輝かせています。

そして3体のシェンロンが一つに集まり、その姿が統合されていくと、まさにダイヤモンドの輝きのようきらきらと輝きダイヤモンドのシェンロンに変わっていきます。そのあまりの美しさに、私達も呆然として見えています。

このシェンロンは、ダイヤモンドの女神とともに働いていたシェンロンの様です

これから、新しい宇宙を創るために、この3体のドラゴンが必要となったために、きっと戻ってきてくれたのでしょう。

このダイヤモンドのシェンロンが、現れた事により、私達の宇宙にも、とても大きな変化がこれからもたらされる事でしょう。

第7章 サナートクマラと地球の柱

PART1 地球の分離したエネルギー

私達は、星のツアーでベガ星を訪れたとき、ベガ星の惑星意識ともいえるマスターベガ様からのメッセージで、不調和の地球に呼応する形で本来のベガ星から分離したベガがあると教えられました。

私達は、ベガ星の別次元ともいえる「分離したベガ」に案内してもらおうと、そこはごつごつした岩場のように感じました。

まるで、荒れた果てた土地のようです。

私達は、この次元を守護するマスターに出てきてもらいました。

そのマスターは、黒いダースベーダーのような存在、あるいは黒い羽根を持った存在のように見えます。

本来黒い翼を持つ天使達は、私が黒の天使と呼んでいる存在で、ネガティブなものを浄化する働きを持つ天使です。

私達の前に現れる事は少ないのですが、この宇宙のエネルギーを守るためには欠かせない存在です。

別のメンバーの方が、チャネリングすると、このベガの別次元は、日本の神様達から分離した面、もともとひとつだったエネルギーが分離する事で、ここの次元が作られた、との事でした。

そしてネガティブな神様と日本のネガティブな感情とが合わされて増幅し、このベガの

特殊な「ベガ星」を生み出した事を知らされました。

日本神界の始まりともいえる鞍馬山に、サナートクマラ達が降り立った時は、その分離はなかったのですが、サマートクマラの活動をサポートしていた仲間の神様がサナートに反発して、違う方向へと動いてしまった事で、エネルギーの分離が生まれてしまったようです。

それは通常であれば光と影のような存在なので必要な事なのですが、エゴの力をうけてバランスがくずれ、統合されるべき領域をほみ出し一人歩きするようになって、さまざまな不調和を起こしてしまったという事です。

この事に関して、私達は創造主エンソフに来てもらいその解決策を尋ねます。

すると、その分離したエネルギーも、中心軸のバランスを整える事でもとに戻る事を伝えられました。

サナートクマラが作った地球の中心軸を元に戻す事で、そのネガティブなエネルギーも解消されるので、その仕事を今日は、私達が行うようにと、創造主エンソフ様は伝えてきます。

PART2 サナートクマラと地球の柱

私達は、私達の宇宙船であり時と空間を自由に超えて行けるフェニックス号を呼びだしました。

フェニックス号にはじめて乗ったメンバー達は、船の内部が高級ホテルのロビーのように見えているようです。

このフェニックス号は宇宙船ですが、地球人の好みにあわせて作られているのでそのように見えているようです。

私達は、時代をどんどんさかのぼり、過去の鞍馬山へと向かいました。

はるかな過去の時代の鞍馬山の上には、サナートクマラ達が乗ってきた宇宙船がありました。

ベガ星からきた宇宙船と鞍馬山を光でつなげる装置もあります。

私達は、サナートクマラに来てもらい事情を尋ねました。

彼らが、地球とベガをつなぐために作った地球の中心軸は、最初はきちんと働いていたようですが、ある時期にその軸が大きくずれてしまい、世界中にエネルギーの不調和が起こってしまったという事です。

「軸がずれた時代は、いつですか？」と尋ねると、アトランティスの時代の後期という返事が返ってきました。

他の星から来た者達が、地球に入り込こんで、その軸のずれを起こしたようです。

それに地球の人々のエゴやネガティブな感情によってひずみはさらに大きくなり、主軸がさらにずれてしまったようです。

しかし、不思議な事に、地球の中心軸をずらす事は、創造主エンソフ様から許可をうけて行われたという事でした。

なぜかというと、幸せな状態の時には、幸せのありがたさが分からないので、あえて不幸な状態を作り出し、幸せのありがたさを分からせるためにしたとの事でした。

そして、その軸の歪みを作ったのは、わし座

のアルタイル星の人達です。

彼らも、エゴによって通常の意識を失っていた時代があり、その時に行なったようです。その軸を元にもどしていいか、どうか、エンソフ様に伺いとうと「元に戻しても良い。」、と許可がでました。

土、風、水、火の4大元素のシェンロンと光、虹、変容のシェンロンを呼びます。さらに崇高、叡智、創造のシェンロンを呼びました。

別次元のベガから影響を受けて、エネルギーの不調和を起こしている地球人がたくさんいるようなので、彼らへのエネルギーを修正していくために愛の種族の天使であるシルバーエンジェル（丸い玉みたいな天使様）を呼びました。

彼らは、地球や天の川銀河だけでなくこのユニバースのもっとも高い次元に存在している天使達です。

シルバー・エンジェル達が、光の剣を持って、天にむけてかざすと、宇宙の愛のエネルギーが放出されました。

すると、中心軸を動かそうとしている「黒い翼」を持った蝙蝠のような存在達にも光が送られていきます。

先日生み出されたダイヤモンドのシェンロンも呼びました。

中心軸の周りに大きな光が生み出され、中心軸は次第に整ってきます。

中心軸を移動させていた「黒い翼」を持つ存在達も力を失って地に落ちていきます。

彼らを逮捕するために、宇宙警備隊を呼びました。

そして宇宙警備隊は、この主軸にゆがみを作ったメンバー達や地球を侵略するために来た人達を逮捕して連れて行きました。

この仕事が終わると、私達はフェニックス号で現代に戻ってきました。

第8章 地球の安定と成長の ために エンソフの計画

PART1 創造主エンソフの計画

私達は、2015年の4月から5月にかけて地球の地殻やコアのエネルギーの調整を行うために、地球のさらに内部の世界にも踏み込んでいく事になりました。

それも全て、宇宙の創造主エンソフの計画に基づき、地球人である私達が、地球の意識とつながり、地球を安定した「愛の星」に変えていくための活動の様でした。

このパートは、エンソフからのメッセージにより、最近の活動をご紹介します。

○地球のコアについて

私は、創造主エンソフです。

これから地球のコアの大切な働きと皆さんの役割についてお話ししましょう

もともと地球のコアと呼ばれるものは、とても大きなエネルギーの塊であると同時に地球の意識本体でもあります。

コアは、とても大きなエネルギーを持って存在していますので、コアと地殻の流れによってそのエネルギーを循環させ適正な温度を保たなければなりません。

皆さんの足元にあるこの地球が大きな炎の塊であるというのも、実に奇妙な話のように聞こえるかもしれませんが、そのおかげでこ

の地球の生命達は、自分の生命を維持できる環境を保っているのです。

もし地球のコアのエネルギーが失われ、コアの熱がなければ、地球はとても人類が生存できるような環境にはならなかった事でしょう。

この宇宙の中には、いくつもの惑星がありますが、地球のように、星の中心に大きな熱とエネルギーを持ったコアが存在し、そのコアの熱と太陽の熱がバランスよく整っている星は決して多くはありません。

皆さんが、いくつもの星を回った時に、緑豊かな物理世界を持っている星々は決して多くはなかった事を思い出してください。

○地球の意識とダイヤモンドパレス

あなた方が、先日入られた場所は、地球のコアの中でも、とても大切な場所であるダイヤモンドパレスです。

もちろんこれは、皆さんに分かりやすくするためにつけられた場所の名前です。

この場所は、地球に生きる生命の意識を統合する場所です。

この地球には、多くの生命達が存在しています。

その一つ一つの意識が繋がり合いながら、この地球の大きな意識を構成しています。

あるいは、この地球の意識から、いくつもの意識が分かれたれながら無数に存在しているといった方がよいかもかもしれません。

地球の意識は、皆さんが考えるよりもはるかに多くの生命達の意識の源となっています。この地球のダイヤモンドパレスという場所は、地球のより高次の意識と皆さんが、直接

つながれる場所でもあります。

それだけ、皆さんは、この地球のより高次の意識と共に活動していくよう導かれているのです。

皆さんが、このダイヤモンドパレスに入る事で、皆さんは地球の意識との一体感を感じとり、さらなる意識の目覚めを体験なさる事でしょう。

○地球の高次の意識モーゼスとゴールドパレス

そして本日あなたの前に現れたモーゼスは、この地球の高次の意識の1人であります。ただモーゼスがいっておりましたように、モーゼスとしての人格は皆さんの前に分かりやすく表現されたもので、本来は高次の地球の意識の一部です。

皆さんが、女神ガイアという名前と呼ぶ存在も、モーゼスと同じように地球の意識の一部です。

ガイアは、地球の意識でも、生命を生み出し育てる働きを主に担当しています。

人類はもちろん、地球に存在するすべての植物や動物達の母親としての存在である事は、皆さんもよくご存じだと思います。

モーゼスは地球の意識の中でも、宇宙の中に存在する生命体としての「地球」の意識を象徴しています。

つまり、地球と他の星々の関係や地球の中におけるいくつもの次元、あるいは過去と未来におけるいくつもの世界や文明の事に関して、モーゼスは関与しています。

そのために、モーゼスは今日、皆さんと共に、

地球のゴールドパレスと呼ばれる場所に入りました。

このゴールドパレスは、地球の星としての環境や地球のエネルギー、海や大陸、空などのエネルギーの循環とバランスを保つ場所でもあります。

あなたが、やがてこの場所に入る事を知って、地球の海のマスターが事前にあなたの前に現れ、あなたに地球の海や大陸などを、汚さないように守護してほしいと伝えてきたのです。

この場所は、地球の環境や星としての生命を守るための大切な場所でありますから、だれもが自由に入れるわけではありません。

モーゼスによって認められ、モーゼスと共に働く宿命の人々のみがこの世界にはいれるのです。

あなたは、この場所の働きを理解して下さると、海のマスター、大地のマスター、空のマスターを呼んでくださいました。

そして 4 大エレメントのシェンロン達も呼んでくださいました。

このゴールドパレスのエネルギーは、地球の海や大陸、空のマスターの力とエレメントの力によって支えられているのです。

そして、それをつないで活性化するのは、皆さん人類の仕事なのです。

あなたは、この地球のコアのエネルギーと海、大陸、空のマスターの力をつなぎ、4 大エレメントのシェンロン達のパワーで、それを堅固なものとしてくれました。

そして、その繋がりによって生み出された地球のエネルギーと意識を、高次のシェンロン達やマスター達の力によって地球に生きる人類達にも届くような大きなエネルギーの

流れにしてくださった事に深く感謝します。

人類がこのエネルギーと深くつながり、ポジティブで愛に満ちたエネルギーを、地球のコアのエネルギーと一つにしてくださる事で、地球のコアが愛に満ち安定したものになってきます。

現在の地球は、とても大きな怒りや苦しみが満ち溢れています。

本来はこの地球の大きなエネルギーによって、地球に住む生命体の感情等はすぐに浄化されていくものですが、地球のコアには本来の働きが出せない状況があるのです。

私達は、あなたがここに来てくださった事で、あなたがその事を理解し解決してくださる事を願っているのです。

○星と大地をつなぐ卑弥呼族

一つは、地球と星のエネルギーをつなぐ種族達をもっと目覚めさせていたいただきたいのです。

そのために、今回卑弥呼族と呼ばれる種族のマスターがあなたの前に現れました。

卑弥呼は日本の歴史の中で、女性のシャーマンである卑弥呼を中心に作られた民族であり都市国家である事が明らかにされていますが、歴史上の卑弥呼は、この卑弥呼種族の最後の卑弥呼達の事です。

本来卑弥呼族は、1～2万年前に、この日本を中心とした場所に存在していました。

約3万年前、鹿児島から沖縄、そして与那国から中国大陸までは、この日本とつながっている陸地でした。

日本海が、内陸部にある大きな湖のようなも

のだったのです。

その場所に、最後のレムリアの文明が存在し活動していました。

しかし大きな地盤沈下によって、レムリアの最後の聖地が海の底に沈んでしまったのです。

その後残されたレムリア人達は、九州から日本大陸に移ってきました。

もちろんそこには他の種族達がすでに生活を営んでいましたが、彼らと共に協力し合いながら、レムリアの末裔は生存していたのです。

そのレムリアの人達の中で、主に神官やヒーラーだった人達が卑弥呼族を形成しました。もちろん、その当時は異なる名前でしたが、皆さんに分かりやすいように言うならば、シャーマン国家を作り上げた卑弥呼という名前が一番適切かもしれません。

卑弥呼族は、常に祈りを通して、この地球のコアと宇宙のエネルギーをつないでいました。

彼女達は、サナートクマラ達作り上げた「地球と星をつなぐ光の柱」と同じような働きをしていたのです。

卑弥呼族は、その特殊な体質を利用してトランス状態で星を旅したり、マスターや創造主達の言葉を伝えていました。

彼女達も、この地球に愛をもたらす「愛の種族」のメンバーとして、レムリアの系譜を受け継いでいたのです。

皆さんのグループの中にも、新たに卑弥呼族達が仲間入りして、新たな目覚めを待っています。

多くの卑弥呼族が目覚め、祈り始める事によ

り、地球のエネルギーは安定へと向かうでしょう。

○地球は多次元へとつながる通路を持つ特殊な星

また地球を安定させるためにはいくつかの大切な仕事があります。

この地球は、いくつもの他の次元へとつながる大切なゲートになっています。

特に皆さん達と共に創造している新たな宇宙に向う唯一のゲートがこの地球にあるといってもよいでしょう

地球の地殻やコアを安定させるという事は、地球のエネルギーを安定させる事です。

地球から他の世界へとつながるゲートは、この地球のエネルギーの影響を受けています。地球のエネルギーが、不安定になればなるほど、これらのゲートも不安定になってしまいます。

以前、あなたにこの地球の地軸がずらされた理由をお話した事がありますね。

地球は本来地軸がまっすぐな状態で創造されたのですが、創造主エンソフ達の意向により、地軸が少しずらされてしまいました。

その理由は、地球の地軸が少しずらされる事により、次元の裂け目ができ、それが他の次元へとつながるためのゲートになるためでした。

通常の宇宙は、一つの次元が他の次元と交流する事ができないような仕組みになっています。

なぜなら、より高次の次元の人達が、より低い次元の人達を支配したり、余分な干渉を行

わないようにするためです。

しかし、そのルールがある事によって、創造主や高次のマスター達の意向が十分に満たされなくなった事も事実でした。

創造主やマスター達は、この地球の物理世界に直接介入できないために、人々の意識を自分達に向けさせ、自分達の意向を伝えました。もし人々が、創造主やマスター達の存在に気が付かなければ、創造者やマスターはこの地球の人々に影響を及ぼす事ができないので、この地球を進化させる事も、皆さんを成長させる事もできなかったでしょう。

異なる次元をつなげる方法は、基本的にはお互いの意識が一つにつながり、その意識によって共有された道をたどる事です。

皆さんが星のツアーやアチューメントで出会ったマスターとお互いのハートとハートを光でつなげていますが、まさにそのような方法でしか、通常は次元を超えたつながり方はできないのです。

またもう一つは、異なる次元を行き来するための光の通路です。

皆さんは、この地球からいくつもの星に光の通路を作る事により、その星との行き来を可能としてきましたが、その光の通路を作るという事は、お互いの次元のマスター達の合意のもとに行われる事です。

そのような方法において、次元と次元、星と星をつなぐ事がおこなわれます。

しかしこの地球の地軸がずらされた理由は、さらにそれ以上の理由があります。

それは、相手の世界のマスターの許可がなくても、自由に他の次元や星に入っていけるための特別なシステムが地球に作り出されて

いたのです。

創造主達は、やがてこの宇宙が荒廃したり誤った方向に行くときに、それを正す必要が来る事を考えていました。

そしてこの次元の裂け目を多次元への通路として、自由に次元を行き来する事ができるマスターの出現を待っていたのです。

もちろん、それがあなた達である事はもうお分かりでしょう。

この多次元への通路は、すでに TAKESHI さんのスピリットの中にも存在しています。TAKESHI さんがどのような世界にも、どのような次元にも自由に入っていけるのは、この通路があなたのスピリットの中に存在しているからです。

○多次元通路の問題と地球の安定

しかし、一つ問題がありました。

この通路を通して自由に他の次元に行けるといふ事は、他の次元からも地球へと入ってくる事が可能だといふ事です。

この次元の通路は、厳重に守られていましたが、やはり高度の叡智を持つ存在達によって、この通路はたびたび使用されました。

あるときは、その存在達によって、素晴らしい文明が花開く時もありましたが、多くの場合は、地球に生きる存在や文明に対して思いがけない脅威となって現れました。

その中には、創造主やマスター達によって、あえて地球人の成長を願って送り込まれた者達もあります。

地球人は、異なる星の人達によって与えられ

た試練をかいくぐり成長していかねばなりませんでした。

それが、地球人達にとっても大きな宿命なのです。

しかしながら、このところの地球の状態は決して良いものではありません。

創造主達は、地球が新たな宇宙へのゲートになっているために、地球を安定させる事を望んでいます。

今までに、サナートクマラをはじめ、多くのマスター達が、地球の安定のために働いてきましたが、今回は皆さんにも協力していただく事になります。

過去に、地球を安定させるためのシステムが地球のいくつかの場所や次元に作られています。

その場所に行き、そのシステムを稼働させていただきたいのです。

地球のコアを守るシェンロン達もその一つでした。

地球のエネルギーをどんどん浄化して、清らかなエネルギーの流れを作るのが、彼らの仕事でした。

人類達によって怒りや攻撃的なエネルギーが増えるにつれて、彼らの仕事はとても困難なものとなっていたのです。

そのために、そのようなエネルギーによって地殻のエネルギーが影響を受けてしまっていたのです。

前回、皆さんが、地球に存在するたくさんのシェンロンを目覚めさせ、活性化する事によって、多くのシェンロン達が、その仕事をサポートできるようになりました。

そして、皆さんが、地球のコアに行く事で、

多くのシェンロン達がコアを守り、コアのエネルギーの循環を良くする新しいシステムを作り上げる事ができました。

また地球のエネルギーの安定を保つためにイピサと呼ばれる星に入り、愛の種族達によって守られている星の様子を見てもらいました。

そこには多次元につながる通路とネガティブなエネルギーを持つ存在達から自分達の星を守るシステムがありましたね。

その事も十分に皆さんの役に立つ情報です。

そして、これから皆さんをいくつもの場所にご案内いたします。

その場所の働きをしっかりと見据え、地球の安定のために、皆さんが何をすればよいかしっかりと考えられてください。

PART2 地球の多次元世界の時間軸の調整

私達は、アチューメントで、地球のコアの調整とは別に、もう一つ大切なものの調整を行う事になりました。

私達は、「シェンロン・ヒーリングのアチューメント」が終了すると、マスターが現れ、来てほしい所があるからと言われ、ある星に連れていかれました。

その星は以前、星のツアーで訪れた事がある星で、正常な意識を失ったマスター達によって荒らされていた星でした。

私達は、そのマスターを助け出し、星の波動を上げて次元上昇させた事がある星でした。今回はあまりにも重要な秘密なので、星の名前は公開しません

またその星を含む星座には、特別な役割がある事もわかりました。

それは、その星座によって、天の川銀河の時間が生み出され管理されているとの事でした。

ただし、その時は、あまりその星に関わる事なく過ぎたのですが、この時になって、私達はその星に再び呼び戻される事となりました。

私達が、その星につくと、その星のマスターが私達を待っていました。

「TAKESHIさん、お久しぶりです。今日は皆さんにしていだきたい事があってここにお呼びしました。

この星は、地球のコアと深くつながっています。

それも地球のコアに流れる時間と、地球のいくつかの多次元に流れる時間を接点としてつながっているのです。

地球は現在いくつかのパラレルワールドに移行しています。

パラレルワールドは異なる世界が同じ時間軸の上を動いていくのですが、それぞれの次元が大きく成長していくと、同じ時間軸の上を動いていたものが、少しずつ変わっていきます。

つまり次元が成長する事で、次元の振幅が変わり、時間の流れる速度が変わっていくのです。

そうなると次元が引き伸ばされたりして、そこに次元の裂け目ができてしまいます。

それはとても危険な事なのです。

現在地球には、あなたもご存じのように主に4つの世界が並行して存在していますが、度

重なるエネルギーの変化のために時間軸もずれてきているのです。

このままでは、4つの世界の間次元の裂け目ができてしまい、離れてしまうかもしれませんので、時間を調整して地球の多次元を守ってほしいのです。」

私にとっては初めて聞く話です。

多次元宇宙の仕組みについて、それが時間軸でつながって存在しているという事の様です。

私はマスターに聞きます。

「それではマスターよ、私達が今新たに創造している宇宙も、この星によって時間が調整され、地球の多次元として機能するのですか。」

「皆さんが創造している宇宙には、まだ時間は流れていません。

宇宙の土台が、まだ完成していないので、タイムラインが存在していないのです。

しかし、宇宙が完成してタイムラインが流れ始める時は、またここに来てください。

あなたの宇宙が地球と深い関係を持って存在しているのなら、時間軸を調整する必要が出て来るでしょう。」

私達は、この星の中にある時間を調整する場所へと連れていかれました。

そこに行くまでは、とても暗い通路を通り抜けていかなければなりません。

私達は地球の次元の時間を調整する場所につくと、この作業ができるマスター達を呼び出しました。

最初に機械工学に詳しいコロボックルのグループが現れました。

それから時間と次元の調整を行う鳳凰族、魔法使いでもある大天使ラジエル、そして宇宙の魔法使い達も手助けに来てくれました。作業がどんどん行われているようです。

私はもう一つ気になってマスターに尋ねます。

「なぜ地球の多次元の時間調整がこの星でできるのですか？

特別な光の通路でもあるのですか。」

「もちろんです。ここには宇宙の各地に行ける特別な多次元通路が開いています。

そのために、宇宙のさまざまな星とつながり、時間軸の調整ができるのです。」

「それは地球の多次元の通路やシリウスの多次元の通路と同じものですか。」

「そうですね、地球とこの星のシステムはとてもよく似ています。

この2つの多次元の通路は同じマスターから作られていますからね。

でもシリウスやあなたが先日行かれたイピザは異なるシステムによって動いているようです。

星にはそれぞれ目的がありますから、その目的に合わせて他次元の通路も作られているのです。」

「それでは、この星の多次元通路にも、地球と同じようにさまざまな侵入者が入ってきて、この星が荒らされたりはしませんか。」

「いいえ、この星の多次元通路は、この通路を作ったマスターしか使用できませんので、その心配はありません。」

「という事は、この星のセキュリティシステムは完全だけれど、地球のシステムには異常があるという事ですか。」

「地球の多次元通路のセキュリティも完全に近いものがあります。

皆さんは、地球に勝手に侵略者が入ってきたと思っらっしゃるようですが、そうではありません。

多次元通路を通るためには、創造主エンソフの許可が入りますので、ほとんどの場合エンソフの計画によって、通路から地球に送り込まれた存在なのです。」

私は一瞬、耳を疑いました。

侵略者が、攻めてくるのも、創造主エンソフが計画していた物語の1部なのです。

「エンソフは、地球の人々に対して、さまざまな苦難を与えます。

それが戦争だったり、大災害だったりする事もあります。それによって地球人が、自然のありがたみや、平和の尊さを体験する事となるでしょう。

そのために、地球で戦争や支配等を起こす存在を、あえて派遣しているのです。

もし皆さんが、多次元通路を研究なさりたい時は、イピザのシステムを学ばれてください。異なるマスターから作られたものですが、非常に役に立つと思います。」

私達が話している間に、地球の多次元の時間の調整が終わったようです。

私達は、マスターにお礼をいって地球に帰る事にしました。

第 9 章 宇宙のシャーマン

日巫女（卑弥呼）族

PART1 日巫女（卑弥呼）との出会い

私達の活動は、私達が地殻の調整のために、地球のコアに入った時、そこに現れた日巫女（卑弥呼）族と出会った事によりさらに大きな発展をする事となりました。

シャーマンの特質を持つ日巫女（卑弥呼）族は長い間、この地球で地球のエネルギーの安定と地球と宇宙の光をつなぐ役目をしてきた存在でしたが、2000 年前にこの地上から姿を消したという事でした。

恐らく歴史上の卑弥呼がこの卑弥呼族の最後の種族長だったかもしれません。

日巫女（卑弥呼）は、私達がこの場所に来る事を心から待っていたようです。

「TAKESHI さん、皆さんにようやくお会いできた事を私達は心から嬉しく思います。私達は、この地球の物理的な世界を去ってからも、この地球をずっと見守っていました。私達は、この地球が健やかに成長し、愛に満ちた星になる事を願い続けているのです。そして、私達は皆さんと出会いました。

宇宙の光のメンバーの中には、私達日巫女（卑弥呼）の魂の流れを引く者達がたくさん存在しているようです。

私達は、彼女達が目覚め、この今の時代にあらたな日巫女（卑弥呼）として活躍してくれる事を祈っています。」

私達は、日巫女（卑弥呼）からのメッセージを聞いて、この地球をさまざまな種族が大切に守ってきた事を感じています。

私は、この日巫女（卑弥呼）の魂とは・・・と考えていました。

すると、次のアチューメント、そしてその夜に行われた星のツアーで、思わぬ展開が起きました。

PART2 日巫女（卑弥呼）の魂を持つメンバー達

ブッダの「アーネスト」のアチューメントを行っている時でした。

祈りの言葉が終り、私達は「制限の門」を解放して、アーネストの美しい世界に入っていました。

アーネストの「悟りの樹」と呼ばれる樹に額をつけ、覚醒のエネルギーを全身に満たしていきます。

そのエネルギーは、私が以前タイに旅行に行ったとき受け取ったエネルギーで、すべてのカルマやトラウマから私達を解放してくれるサポートをするためのエネルギーです。

私達は、そのエネルギーを受け終った後に、浄化の泉に身を浸します。

通常は女神アーネストが現れてくるのですが、今回は予想どおり日巫女（卑弥呼）がそこに立っていました。

日巫女（卑弥呼）が私達に声をかけます。

「先ほどは大変ありがとうございました。皆さんのおかげで、この地球と宇宙は再び豊かなつながりを取り戻す事でしょう。

どうか皆さんの魂を目覚めさせてください。皆さんの目覚めは多くの日巫女（卑弥呼）族の目覚めとなります。

そして、多くの女性達を癒し、元気にしてあげてください。

多くの女性達が目覚める事なくしては、この地球は光の星とならないのです。」

その後、日巫女（卑弥呼）は、私達に日巫女（卑弥呼）のエネルギーを使用して行う日巫女（卑弥呼）ヒーリングのやり方とアチュメントを教えてくださいました。

それは、日本の女性達にとってとても大きな助けとなる事でしょう。

私達は、日巫女（卑弥呼）によってもたらされる「母なる地球」と「母なる宇宙」の愛と光を受け取る事となるのです。

PART3 地球の次元のゆがみを調整する日巫女（卑弥呼）

私達は、その夜に行われた星のツアーで、再度日巫女（卑弥呼）と出会う事になりました。それは、私達が天の川銀河の創造主であるアディテイーヤと共に、天の川銀河の統合を図るために作った神殿に入った時の事です。

アディテイーヤが、私達に、前回、サナートクマラが作った地球の中心軸を修正した事で、こちらの世界に次元のひずみができてしまったとの報告を受けました。

神殿の裏側に回ると、まるで台地が裂けたかのように地面が割れていて、その周りには岩が飛び出しているように見えます。

地球の中心軸が、たとえずれていた場所から

もとに戻る事であっても、前の位置から変化
する事に変わりがないので、それによって天
の川銀河の各地に次元のひずみが生まれた
ようです。

私達は、この次元のひずみを修正するために、
4大エレメントのシェンロン達や次元の調
整を行う鳳凰族や鷲族達を呼び寄せました。
するとそこに、日巫女（卑弥呼）達もやって
きました。

本来日巫女（卑弥呼）族は、このような次元
の修正を行う能力も持っているようです。
日巫女（卑弥呼）達は、他のバード族やシェ
ンロン達と力を合わせて次元の調整を行っ
ています。

次元の調整が終わると日巫女（卑弥呼）は嬉
しそうに、私達の前に現れます。

星のツアーに参加しているメンバー達を見
て、たくさんの日巫女（卑弥呼）達の魂を持
つ女性達がそろっている事に喜びが隠せない
ようでした。

今回、新しく参加しているメンバーは、愛の
種族達がほとんどですので、その愛の種族の
一つの流派である日巫女（卑弥呼）族がたく
さんいても不思議ではありません。

私は、日巫女（卑弥呼）にお願いして光を送
ってもらう事にしました。

日巫女（卑弥呼）は喜んで、私達に光を送り
ますが、そのパワーの強さにメンバー全員が
驚いています。

光を送り終わって 10 分近くたつのに、まだ
体がしびれているメンバーもいるようでした。

PART4 日巫女（卑弥呼）のふるさと

星のツアーが終って、2日後の事、新しいメンバーへのサポート・アチューメントをおこなっている時に、また再び日巫女（卑弥呼）が現れました。

日巫女（卑弥呼）は、私達に日巫女（卑弥呼）達がやってきた世界を見せてくれる事になりました。

私達は特別な次元の通路を使って、日巫女（卑弥呼）達の故郷へとたどり着きました。そこは穏やかな自然が広がるやわらかい風景の星です。

近代的なものを思わせる建物や乗り物も存在しません。

数名のシャーマン達が祈りを捧げたり、農作業のような事をしている世界です。

私は、その村の長に出てきてもらい、ここがどこなのか尋ねてみました。

「皆さん、よくこの世界に来てくれました。皆さんは、ここが地球のレムリアだと思っ
ていらっしゃるようですが、そうではありません。」

この場所から、私達の種族が地球にわたってレムリア文明を作ったのです。

つまり、レムリア人の先祖に当たる種族達の世界です。

ただしここは、物理的な世界にある次元ではありません。

ここでは、シャーマンの種族達が育てられ教育を受けている場所です。

そしてこの世界から、地球だけでなくさまざまな星へと送られ、その星のシャーマンとなっていくのです。」

私はこの次元の役割についてもう少し聞いてみました。

「この世界は、皆さんが考えているような特定の星ではありません。

愛の種族が生まれた世界の流れの中にある世界の一つです。

愛の種族は、多様な世界を作り出しています。それぞれが役割を持って存在しているのですが、この世界は、星々や宇宙と意識を組み合わせる事ができるシャーマン達を育てています。

それも、皆さんもよくご存じの惑星意識をサポートし、惑星意識を守護する事ができる存在達を育てているのです。

他のマスターや騎士団のように、星々を旅するのではなく、しっかりとその星に根付いて、星の生命を支え、母なる宇宙の意識と星の意識を一つにつなげていく事がシャーマン達の目的です。」

私は、日巫女（卑弥呼）の事が少しだけわかった気がします。

「日巫女（卑弥呼）達は、この宇宙にいる多くのシャーマン達とも、深い意識で交流しています。

そして宇宙の星々が共に支え合っているように、彼女達もお互いを支え合っているのです。

必要な時には、この世界から、彼女達が関わっている星々へサポートに行く事もありますが、いつもは、彼女達の深い意識を通して、その星々のシャーマンへエネルギーを送り助け合っているようです。」

私達は、シャーマンの長とハートとハートに光をつなぎ地球に変える事となりました。

この宇宙を作り出すバード族やシェンロン

族、植物や生命達を育てるフェアリー族やホビット族、叡智ある存在達を守護する天使族、そして星の生命を支え宇宙と光をつなげるシャーマン族。

この宇宙には、私達の知らない秘密がまだまだたくさんあるようです。

PART5 母なる地球、母なる宇宙。そして女性の癒しー日巫女（卑弥呼）からのメッセージ

日巫女（卑弥呼）のアチューメントを作るにあたって日巫女（卑弥呼）から寄せられたメッセージをご紹介します。

それでは TAKESHI さんに、日巫女族の秘密をお知らせしたいと思います。

まず私達は、皆さんの前に日巫女（卑弥呼）として現れましたが、これは皆様に分かりやすく理解してもらうために卑弥呼という名前を使用しています。

私達は、愛の種族としてこの地球に降り立ち、レムリア人として生きていた時代があります。

レムリア人として生きていた時は、主に神官やヒーラーとして活躍していました。

そして、レムリアが滅んだ後は、いくつかの世界を旅して、最後に日本に入り卑弥呼族となりました。

私達の種族は、天の川銀河だけでなく、いくつもの銀河や星雲のさまざまな星にも存在しています。

この宇宙の中でも、特定の役割を持って広く存在している種族なのです。

私達は、皆さんの言葉でいうとシャーマンの働きを持つ種族です。

シャーマンの種族は、マスターや騎士団と事なり、特殊な能力を持って活動しています。私達が活動する目的は、祈りを通して、安定感のある豊かな星を生み出す事です。

私達は、自らのスピリットや特殊な能力を使って、自分達が住んでいる星の意識や宇宙の意識とコンタクトを取ります。

そして、星にとって何が必要なのか、何をし
てあげたらよいのかという事を教えてもら
います。

私達にとって自分達が住んでいる星は、私達
にとって大切な母であり、この宇宙もさらに
偉大な母であります。

私達は、その母なる宇宙や母なる星から生ま
れた子供として、母と母から生まれた兄弟姉
妹のために生きています。

私達は、私達のスピリットと意識を通して、
「母なる星」「母なる宇宙」の光と愛を受け
取ります。

そしてその愛を、星と星に生きる多くの生命
達に分ち合うのです

私達は今、皆さんと同じ地球に存在していま
す。

私達にとって、母はこの地球であり天の川銀
河です。

私達にとって、兄弟姉妹は人類である皆さん
と地球に生きる多くの動物や鳥、魚達、そし
てこの地を豊かに彩る植物達です。

私達は、「母なる地球」の意識から受け取ったメッセージを皆さんに伝え、「母なる地球」の愛を分かち合います。

しかし現在この地球はとても不安定な状態になっています。

私達の種族が、2000年前にこの地上から姿を消して以来、地球の言葉を伝える種族がこの地球からいなくなっていました。

そして、祈りによって「母なる宇宙」の光を「母なる地球」につなぐ事もできなくなりました。

そのために「母なる地球」と「母なる宇宙」のつながりが不安定になり、自然環境も不安定になっています。

また地球に生きる多くの生命達も傷つき本来の豊かさと素晴らしさを見失っています。

私達は、再びこの地球に降り立ち、皆さんと活動を共にしていきます。

それは皆さんのメンバー達の中に、卑弥呼の流れを引くスピリット達がたくさん生まれ変わって存在しているからです。

私達、そして現代の地球に転生してきた卑弥呼の魂達は再び目覚める事でしょう。

彼女達は、再びこの地上にて、「母なる地球」と「母なる宇宙」をつなぎます

そして、この地球に生きる多くの兄弟姉妹達に、「母なる地球」と「母なる宇宙」の愛と光をもたらす事でしょう。

私達は、母の光によって、この地球で傷ついてきた女性達の苦しみや悲しみを癒すでしょう。

地球の女性達は、あまりにも多くの苦しみを受けたために、自由でパワフルな「神聖なる女性」の姿を見失っています。

それは、この地球も同じです。

度重なる自然破壊や地球への汚染のために、この地球も傷ついているのです。

卑弥呼族によって地球の女性達が癒されるなら、その癒しのエネルギーは地球も共に癒します。

地球の子供である人間の癒しは、その母である地球の癒しとなるのです。

そして、女性達の意識がさらに目覚め、女性の神聖さを取り戻す事ができたなら、この地球は、もっと神聖なエネルギーを蓄えた素晴らしい星となる事でしょう。

そのために、私達は再びこの地球に降り立ちました。

皆さんと共に、女性達を癒し、この地球を「母なる宇宙」の光につなぎ、ゆたかな愛の星にするためです。

第10章 愛の種族を守護する

「愛の光の天使達」

PART1 シルバー・エンジェルと愛の種族 が生まれた世界

私達が、サポート・アチューメントで、「ミカエルと神龍の心の扉と鍵」のアチューメントをしている時、新たな大天使が登場してきました。

通常であれば、心の扉を開いて大天使ミカエルに会いに行く予定だったのですが、私達の前に現れたのは、銀色の翼を持つ見慣れない天使でした。

私はその翼の色や様相から、かなりのレベルにある大天使である事がわかりましたので、「シルバー・エンジェル」と名前を付けさせていただきました。

シルバー・エンジェルとメンバーが、対話を行っていきます。

シルバー・エンジェルは、私達の天の川銀河をはるかに超えたユニバース（単一宇宙）の最高次元から来られた方の様でした。

局部銀河を守るユニバーサル・エンジェルを超えて、私達がホーリーエンジェルと呼んでいるレベルの大天使です。

彼の上には、愛の源に存在する「ウイング」と呼んでいる天使達の源となったエネルギーが存在しています。

彼は、私達にメッセージを伝えてきます。

「私達は、この地球にもっと豊かで深い愛を

伝えに来ました。

今の地球には、愛のエネルギーがあまりにも弱すぎます。

もっと皆さんの心の奥から、皆さんが持っている愛を分かち合ってください。」

彼は、5月1日に私達がネパールの大地震によって被災した人達のために祈りの会を行う事を知ってサポートに来てくれたようです。

凜とした厳しい姿の中にも、とても豊かな愛情があふれています。

私達はシルバー・エンジェルに、あなたがやってきた場所に連れて行ってくださいとお願いしました。

するとこのシルバー・エンジェル達は、とても速いスピードで光のトンネルを抜けていきます。

そして、私達がたどり着いたところは、とても美しい世界でした。

全てが虹色の光で満たされ、花も虹色に輝いていました。

私がここはどこですか、この世界のマスター達よ、出てきてくださいとお願いすると、1人の気高い女神が現れてきました。

私は彼女にここがどこであるか、訪ねます。女神は頬笑んでいます。

「TAKESHIさん。あなたも、かつてはここにいた事があるのですよ。」

私は一瞬、懐かしさがこみあげてきますが、私には覚えがありません。

「ここは、愛の種族達のスピリット達が生まれ育つ場所ですよ。

ここで生まれた「愛のスピリットのエッセン

ス」は、叡智ある存在達やフェアリー、ペガサスなどの種族の人達のスピリットに入っ
て、それぞれの種族特有の愛を目覚めさせて
いきます。

つまり、普通の種族の存在を愛の種族へと変
えていく働きをしていくのです。

あなたの中にも、この愛の種族のスピリット
は、しっかりと根付いています。

そしてこの天使達にも、愛の種族のエッセン
スは流れているのですよ。

彼らも、まさに愛の種族なのです。」

シルバー・エンジェルの光が、どんどん強くな
っていきます。

シルバー・エンジェルのスピリットも私達の
スピリットも喜びであふれていきます。

このシルバー・エンジェルと私達は、黄金の
女神達の世界へと入りました。

すると驚いた事に、彼らは、とても波動が細
かく柔らかい丸い綿菓子のような姿で現れ
ました。

本来は、このような姿で存在しているよう
ですが、自由自在に仕事ができるように、形を
変える事もできるようです。

私は、最初凜とした姿で銀色の羽を持って現
れたので、この綿菓子のような姿が、全然イ
メージできずに困惑しました。

しかし、彼らは、ダイヤモンドの女神達の部
下として彼女達の仕事を手伝っているよう
です。

エンジェルでありながら、宇宙の創造や宇宙
のさまざまな計画を遂行するために生み出
された天使の様です。

彼らが、宇宙の創造を行う時にも、人々の工

ゴや負のエネルギーを浄化し活用しながら、創造の仕事をしていく様です。

彼らは、私達の地球を光に満たし、不要なエネルギーを光に変えながら、さらに豊かな世界を作り上げていきます。

それが現在の地球であれ、これから生まれてくる新たな宇宙であれ、彼らはその星を豊かな愛に変えていく事でしょう。

彼らにとって大切な事は、地球に愛を送る事、新たな宇宙を創造するために、この地球を救い活用していく事の様です。

なぜなら、地球は宇宙のために大切な星だからです。

PART 2 愛の光りの天使達の働きについて シルバー・エンジェルからのメッセージ

私達は、シルバー・エンジェル達から、シルバー・エンジェルの光をアチューメントにしてくださいという依頼を受けました。

やはり、この地球で活動するためには、シルバー・エンジェルの光としっかりとつながる人達が多数存在する必要があるようです。

私は、彼らからのメッセージを受け取る事にしました。

それではあなたが、シルバー・エンジェルと呼んでいる「愛の光の天使」達の秘密をお知らせしましょう。

私は、「愛の光の天使」のリリースとお呼びください。

私達は、愛の種族のメンバー達を守護するために神聖なる愛の女神によって生み出された天使達です。

私達はいくつもの次元を超えて、さまざまな存在に対して守護を行います

私達を動かしているのは、愛の種族特有の「愛のエッセンス」であり、私達が働きかけるのも、愛の種族達が持つ愛のエッセンスに対してです。

私達は、皆さんのハートの中に、ひとかけらでも愛のエネルギーが残っているのならば、私達は全力で、あなた方を守護し導きます。

あなたがどのような苦境に立たされ、自分本来の使命と能力を忘れていようとも、私達は、あなたの愛を最大限に輝かせ、あなたの能力と資質を高めていきます。

皆さんは、この地球という物理的な世界の中で生きる事により、多くの事を学び続けます。それは、皆さんのスピリットが選んだ使命であり、皆さんが成長するための大切な学びでもあります。

皆さんは、愛の種族の中でも特に素晴らしい資質を持つ人達ばかりです。

愛の種族は、さまざまな種族から生み出されています。

それはフェアリーや天使、ペガサス、そして多くの星に住む種族の人達から生み出されてくるのです。

それは1つの種族だけでなく、多くの異なる種族が、愛のエッセンスにより、1つにつながる事で単独の種族よりも、はるかに広範囲で大切な役割を果たす事ができるようにするためです。

この地球を愛の星にする事は、この宇宙の中でも最大の課題の一つです。

なぜなら、この地球は、多次元の通路によって、さまざまな星や次元につながっているからです。

しかも、この地球の物理次元に生きる皆さん人類は、この宇宙の創造においても大切な役目を持つ存在して作られたからです。

この地球に住む人達が、どのような想念やエネルギーを持つかによって、この宇宙はとても大きな影響を受けます。

この地球に生きる人々の感情やエネルギーは、多次元の通路を使って、他の星々に大きな影響を与えます。

地球に住む人々はその数も増え、強い感情やエネルギーを持つようになってしまいました。

特に、感情の中でも恐怖や怒り、憎しみの感情は、とてもパワフルで鋭い剣のようなものです。

そのエネルギーが放出されると誰かを傷つけずにはいられないのです。

そのために、多次元通路につながる星に住む人々が傷つけられてしまう事もあります。

この宇宙にとって重要な問題は、地球を早く愛の星にして、多次元通路から憎しみや恐怖、怒りの感情があふれ出ないようにする事なのです。

もちろん、創造主達は、この多次元通路をふさぐ事も考えましたが、地球が愛の星になるためには、この多次元通路を使用して、多くの愛の存在が地球に降り立つ必要があるのです。

そして地球の人々も、この通路を利用して、異なる世界に入り、自らの意識を成長させる必要があると考えたのです。

そして、地球人が持つ感情を、定期的に地球から放出して減らしてあげないと、地球のコアの意識であるガイアが持ちこたえる事ができなかつたのです。

そのために創造主達は、地球に多くの素晴らしい「愛の種族」のメンバーを送り込み、地球に生きる人々を癒し愛に目覚めさせようとしてきました。

サナーとクマラやイエス、仏陀をはじめ、多くの偉大なマスター達がこの地球を訪れ、地球のエネルギーを浄化し、人々を導きました。

彼らは多くの人々を癒し、彼ら独自のスタイルで人々の意識を高め、人々が持つネガティブな感情を光に帰そうと試みてきました。偉大なるマスター達のおかげで、地球の人々は、戦争によって多くの人々を殺戮する事を止め、理性的な文明を作り上げてきましたが、人間達の争いは決してなくなったわけではありません。

常にひとつの民族や国家が、敵対する民族や国家を傷つけていますし、個人レベルでも無意味な争いや虐待は後を絶ちません。

人々は、自分の利益やエゴのために争う事を止めようとしません。

そのために、地球に住む人々は、昔と変わらず恐怖や怒りを持ち続けています。

創造主は、そのような地球の状況を見て、偉大なる天使達を数多く地球に派遣しました。地球に生きる人々を守護し導くためです。

しかしながら、天使達は、自らを信じてくれる人に対しては、守護や導きを行えますが、そうでない人には十分な働きかけを行う事ができません。

また、地球の人々は、天使の事を信賴していても、天使達の本当の働きや願いについて、十分理解出来ていません。

天使達は、この地球を愛の星にするために、皆さんを守護し導いているのですが、皆さんは大天使達に対して個人的なレベルのお願いしかしなくなりました。

自分を幸せにしてほしい、自分をお金持ちにしてほしい、自分を守護してほしい。

もちろんその事も大切ですが、天使達は、皆さんを通して、この地球に愛をもたらしたいのです。

天使達は、地球や地球に生きる多くの生命達のために活躍したいのですが、天使達にその事を望む人達はわずかしきありません。

大天使ミカエルも、ガブリエルもそうです。彼らの素晴らしい愛やパワーを十分に発揮する事ができないのです。

そのために多くの天使とマスター達が、TAKESHIさんのもとに集まり、TAKESHIさん達が捧げる、「地球や宇宙のための祈り」に基づいて行動しています。

そして地球と宇宙を豊かな愛の世界にするために活動する皆さんの働きをサポートしているのです。

今回、皆さんに、宇宙の中でも特別な秘密である「愛の種族」の働きについて詳しい情報が与えられ、地球に降り立った「愛の種族」を目覚めさせる大切な任務が与えられました。

地球には、多くの愛の種族が降り立っているのですが、地球の物理世界では自らのスピリットの役目や記憶、そして能力は思い出せない事になっています。

そのために、愛のエネルギーを感じてはいるものの、自分自身がどのような存在なのか、この地球に何のために降りてきたのか、何をすべきなのか、という事を多くのメンバー達が思い出せずにいるのです。

創造主もそして愛の種族を生み出した「神聖なる愛の女神」もその事を大変憂い悲しんでいます。

「愛の種族」を目覚めさせるために、多くのマスター達がこの地球に降り立ち努力を重ねてきました。

どうか、皆さんも、多くのマスター達と協力しあって、地球に降り立った「愛の種族」達を目覚めさせていただきたいのです。

私達、「愛の光の天使」達は、そのために、皆さんと行動を共にする事になりました。皆さんのもとにこれからたくさん、まだ目覚めていない「愛の種族」のメンバー達がやってくる事でしょう。

そのような人達を、あなたのもとに導いていくのも、私達の仕事です。

そして、皆さんによって、愛の種族のメンバー達を目覚めさせていただきたいのです。

私達「愛の光の天使」や日巫女族、そして「神聖なる愛の女神」としっかりと光をつなぎ、それらの人々の愛を最大限に輝かせていただきたいのです。

私達は、彼らが抱えている苦しみや悲しみ、そして怒りや恐怖を癒します。

彼らがそれらの感情に囚われていると、そこに愛は存在できないからです。

そして、彼らがこの地球におけるいくつもの転生の中で培ってきた、さまざまな感情や囚われ、カルマやトラウマ、あるいは自分自身に対する封印や他者からの封印（黒魔術）などを解き放っていきます。

私達はこの宇宙の最高次元の天使として、他の天使達の資質も全て持ちあわせています。そして、愛の種族を目覚めさせ、その能力を高める事も、私達の得意とする仕事です。もちろん、彼らが幸福で愛に満ちあふれた生活を送る事ができるように守護し導きます。

私達ら「愛の光の天使」は、皆さんと共に、愛の種族を目覚めさせ、この地球と宇宙を豊かな愛の世界にするために、皆さんと共に活躍していきます。

PART3 光のエンジェル達の世界

このメッセージを受け取った後のアチューメントでは、「愛の光の天使」を呼び出し、彼らの世界へと導かれていきました。

私達を迎えに来てくれたのは、プラチナのように銀色に輝く体と翼、そしてダイヤモンドのように輝く顔を持つ天使です。

私達は、彼と共に光の通路を通過して「愛の光の天使」達の世界へと入っていきました。

そこは様々な丸や楕円形の光がたくさん浮かんでいる世界です。

この光の1つ1つが天使達なのです。

この世界のリーダーをお呼びすると、先ほど

の天使とは別に、もう1つの青い光が現れます。

私達は、リーダーと話をする事にしました。

「偉大なる「愛の光の天使」よ。
皆さんにお会いできて光栄です。
どうかこれからもよろしくお願いします。
最初に、私達に皆さんの事をもっと詳しく教えていただけませんか。」

「TAKESHIさん、こちらこそ、皆さんにお会いできてうれしく思います。
皆さんの活動を心から私達は喜んでいきます。
さて、私達の事ですが、実は私達は天使と呼ばれる存在とは本来異なる存在です。」

その言葉に、私は一瞬驚きました。
私は、浅はかにも、体から羽が生えている存在は、すべて天使だと思っていたからです。

「TAKESHIさん、私達の事を、天使と呼んでもらっても結構なのですが、私達は「神聖なる愛の女神」の光を直接体現する者達なのです。
つまり「神聖なる愛の女神」の光であり働きそのものといった方が正しいかもしれません。

本来はご覧のように、ホワホワとした綿菓子のような光の形をしているのですが、私達の仕事をしやすいように天使の資質と天使の姿を持って存在しています。

それは、私達が地球の人々を対象に活動を行っていますので、地球の人達になじみ深い天使の姿をとる事で、私達は地球の人達に信頼してもらいメッセージなどを伝えやすくしているからです。」

「確かにそうですね、地球の人達は天使が好きですし、天使のメッセージを喜んで受け取っています。

もちろんそのほうが、皆さんの力を発揮しやすいと思います。」

と私も彼らの考えに同意しました。

「私達は、天使の姿だけでなく、すべての天使の資質もしっかりと受け継いでいます。

愛の種族の人達を救済するために、感情を癒し浄化する事や多くの封印やカルマを解き放つ事もできます。

もちろん、大天使ラジエルのように宇宙の神秘の力を使う事もできますよ。

それも全て、さまざまな「愛の種族」を守り導くためにある事なのです。」

「本当に力強い限りです。

ありがとうございます。

それでは偉大なるダイヤモンドの光を持つマスターよ、あなたの役割や働きを教えてくださいいただけますか。」

「もちろんです。

私は「神聖なる愛の女神」の光を受けて愛の種族を守るために生み出されたグループのリーダーです。

私は、多くの仲間達と共に、さまざまな光の種族の守護を行います。

またメンバーを育て彼らに必要な能力を与える事もします。

私達は、「神聖なる愛の女神」の光を使用して、多くの人達や存在を目覚めさせます。

皆さんの言葉でいえば、感情を癒したり理性を失っている存在を正気に戻し、自分の使命や本質に気づかせます。

また皆さんの純粋なスピリットの上に、かけられた不純な膜のようなものを取り除き、皆さんを自由にします。

カルマや封印解除などのさまざまな制限を取り除き、皆さんを救いいたします。

また、皆さんが見失っている資質や能力を目覚めさせ高めます。

私達の働きは、多くの天使達の能力をその中に秘めているがゆえに万能です。

そして、私達が助けようと思っている人達の状況や弱点にあわせて対応する事ができます。」

そして、青いエネルギーを持つマスターも自分の事について説明してくれました。

「私は、愛の種族の守護者達が、とても低い次元やはるかに遠く離れたところにも入れるように彼らの能力を高めます。

愛の種族は決して平和な星ばかりに行くのではなく、争いや抑圧が日常的に起こっている星へ行く事も少なくありません。

そのために、愛の種族のメンバーも、またそれを守護する者達も危険な目に合う事がよくあります。

そのような時に、守護者達は力強くまた自由自在に働けなくてははいけないのです。

愛の種族を助けるために、どのような世界にでも入っていける身軽さや柔軟性、そして遠く離れている場所、見知らぬ場所でも活躍できるようなパワフルさと聡明さが必要です。私は、その力の源として、多くの守護者や存在達の能力を目覚めさせます。」

「青い光を持つマスターよ、素晴らしい力ですね。

それは、私達にも、その能力を目覚めさせて

いただく事ができるのですか。」

「もちろんです。

皆さんは、これからもっと活躍してもらわなければなりませんからね。」

私達は、マスター達に光をつないでいただくお願いをしました。

するとマスター達も喜んで私達に光を送り、私達の能力を高めてくれるお手伝いをしていただけるようです。

私は、最初のダイヤモンドの輝きを持つマスターを「ダイヤモンド・ソフィア」、そして青い光を持つマスターを「ブルー・ソフィア」と呼ばせてもらう事にしました。

私達はその後、この「愛の光の天使」達の呼び名について話し合いました。

やはり天使というイメージは残す事にして「愛の光の天使達（ライト・エンジェル）」という名前にする事で合意しました。

PART4 「愛の種族」の評議会と地球の「愛の種族」の代表

私達は続いて、愛の種族の評議会の事について話をします。

それは、最初に、私達に「神聖なる愛の女神の結晶」を渡してくれたのは、このスピリチュアルな宇宙の創造に携わるセントラル種族であるセントラル・モーセスでした。

セントラル種族の中には、愛の種族に関わっているメンバー達が数名いるようです。

その1人は、イエスの最高次元であるセントラル・イエスのようですが、まだほかにもいらっしゃるようです。

「偉大なるダイヤモンド・ソフィアよ、皆さんも「愛の種族」の評議会のメンバーなのですか。

セントラル・イエスやセントラル・マリア、セントラル・モーセスと同じ立場にある方なのですか？」

と私は「愛の光の天使」達の守護者にたずねました。

「そうですね、私達も、そのメンバーの一人です。」

「それでは、日巫女族のようなシャーマンの種族をまとめているリーダーも、評議会の中にいらっしゃるのですか。」

「もちろんです、シャーマンの種族をまとめているメンバーも当然いますよ。

そしてウイングのリーダーも天使達を代表して評議会に参加していますよ。」

私はその時、ふと地球はどうなっているのだろうと考えました。

地球には、いくつもの種族から参加しているメンバー達が数多く存在しているようです。その中には、愛の種族である事に目覚めてすでに活動しているものもいれば、目覚めを持っているものもいるようです。

地球の「愛の種族」をまとめているマスターはいるのでしょうか。

私がある事をダイヤモンド・ソフィアに尋ねると、もちろんですと答えてくれました。

私が地球の「愛の種族」のマスターを呼び出すと、イエスの姿によく似たマスターが現れましたが、様子を見ているととても忙しそうです。

いくつもの次元やグループに関わっているようです。

彼は、イエスのエネルギーの流れの中にあるマスターの様です。

地球に存在したイエス・キリストよりも高い次元にあり、局部銀河を守護するグレート・イエスの一部のように感じられます。

彼は、サナンダとも呼ばれているようですが、「地球の愛の種族」に関しては、「愛の種族」の評議会のメンバーであるセントラル・イエスから指示を貰って活動しているようです。

「偉大なるマスターよ、あなたとは初めてお会いしますでしょうか、」

「TAKESHIさん、直接会うのは初めてですが、私は、グレート・イエスのエネルギーと一つなので、皆さんの活躍については良く存じています。」

「地球の愛の種族やあなたの活動について教えていただけませんか。」

と私は尋ねました。

彼は忙しそうに働いている手を止めて、私の問いに答えてくれました。

「あなたもよくご存じのように、地球にはたくさんの愛の種族のメンバーが降りてきています。

もちろん目覚めている人もいれば、そうでない人もいます。

私は主に、愛の種族として目覚めてきた人達の活動を見守っています。

地球には、そのような人達が作ったいくつかのグループが存在しています。

私は、それらのグループを指導し停滞しないように見守ります。

その中には、宗教的な信仰を基に動いているグループもありますし、皆さんのように形に

とらわれずに自由に活動しているグループもあります。

全てのグループはそれぞれの目的と使命に基づいて活動しています。」

私達とイエスは、共に協力し合う事を約束して光をつなぎます。

でもこのイエス様、忙しすぎて少しストレスがたまっているようです。

きっと「愛の光の天使」がサポートを行ってくれる事でしょう。

PART1 セントラル族のモーゼスとの出会い

アチューメントを通して、私達は再び創造主エンソフの仲間であるモーゼと共に創造主の世界に上がっていきます。

私達が行きついた場所には、同じモーゼの種族でありながら、少し雰囲気異なるマスターが待っています。

わたしは、この目の前に立っているモーゼが、どのような立場にある人か、確認を取ります。彼らにすればあまり意味のない事なのですが、私達にすれば、どのような立場に立っているかを確認する事はとても大切な事なのです。

「私は、モーゼスとしてこの宇宙の法則や真実を明らかにする存在です。

私は、あなた方の言葉で言うならば、セントラル種族の者といってもよいでしょう。

私達は、「神聖なる愛の女神」の光を、スピリチュアルな宇宙においても、物理的な宇宙においても、この宇宙の中にいきめぐらせる働きをしています。

わたしは、セントラル種族の一員として、皆さんに大切な事をお伝えするために、ここに皆さんをお呼びしました。」

「偉大なるモーゼスよ、あなた達がこの宇宙を創造するセントラル種族の立場にある事はよく理解できました。

それで今日、私達を呼ばれた理由はなんでしょうか。」

「私達はいつも皆さんの活動を見守り、応援しています。

あなたはすでに創造主の証であるオリハルコンをお持ちであると思いますが、今回はさらに効果の高い特別な光の結晶を授けましょう。

この結晶を使用する事で、皆さんの能力も高まり、今まで以上に速いスピードで効率よく進化する事が出来ます。」

私達にはその結晶は、クリスタルの一種であるハーキマーダイヤモンドのようにもみえます。

「その結晶とは、私達がすぐに使えるようなものなのでしょうか。」

「普通の人達は簡単に使えるものではありませんが、皆さんでしたら十分に使いこなせるでしょう。」

「分かりました、ではその結晶を私達のスピリットにいれてもらってもよいですか。」

モーセスは、にこやかに笑いながらその結晶体を私のスピリットの中に入れていきます。私は、本当はいったいどうなるかとドキドキしながら、その結晶体を受け入れて行きます。私のスピリットから、体の中にまで伝わる振動がひびきわたります。

私のスピリットの中に結晶体がカチッとハマり込んでいく気がします

「偉大なるモーセスよ、ありがとうございました。

それではまた後から、この結晶体の事について詳しい情報をいただけますか」

「TAKESHIさん勿論です。

では情報を送りましょうね」

そう言ってモーセスは、真っ白い伝書鳩を数羽、空に向かって放ちます。

一瞬、伝書鳩・・・という感じでしたが、創造主なりのおしゃれさだったのでしょう。その2日後、伝書鳩が私のもとに届いたようです。

モーセスからこの「神聖なる愛の結晶」についてのリーディングメッセージをご紹介します。

そして、神聖なる愛の女神からも、直接メッセージをいただきました。

PART2 「神聖なる愛の結晶」の働きについて セントラル・モーセス

○様々な結晶やオリハルコンについて

あなた方に今回与えられるものは、「神聖なる愛の結晶」と呼ばれる秘密のコードです。このコードは、創造主のコードとも呼ばれています。

今まであなた方には、オリハルコンと呼ばれる物理世界の創造主のコードを差し上げてきました。

あなたはオリハルコンを使用する事により、通常のホーリー・クリスタルよりも、はるかに強く大きな働きをもたらす事ができました。

オリハルコンは傷ついたクリスタルを修復しパワーを与え、新たなエネルギーを生み出してきました。

また、オリハルコンを使用する事で、人類を大きく成長させるための起爆剤としても利用してきました。

オリハルコンは、創造主エンソフとブラフマンを通してあなたに与えられましたが、これは、物理的な宇宙を創造する力の源として活用されていたのです。

今回あなたに与えられたものは、さらに高次の世界、スピリチュアルな宇宙を含めて、すべての世界の創造と進化をもたらすための光の結晶です。

あなた方の活動の領域は、物理的な宇宙をこえてさらに大きく広くなります。

そして、あなたを含め皆さんの進化のスピードもさらに速まります。

その進化は、皆さんの意識のみでなく皆さんのスピリットまでを含めた進化となる事でしょう。

あなたは以前、オリハルコンを受け取る前に、グレート・イエスから「愛の結晶」と「叡智の結晶」を受け取りましたね。

この2つの結晶によって、あなた方は愛と叡智に目覚め、自らを成長させ、天の川銀河の多くのマスター達を導いてきました。

そして創造主ブラフマンと出会い、創造主としてのコードでありパワーの源となるオリハルコンを受け取りました。

オリハルコンは、この宇宙の原動力として、宇宙の働きを維持してきたのです。

しかし、皆さんの進化と活動はすでにオリハルコンがコントロールできる領域をはるかに超えたものとなってきました。

皆さんが、愛の種族の復活や地球の地殻に関わる多くの作業を行っていただいた事で、皆さんの働きは、神聖なる愛の女神にも認められ、愛の種族の代表的なグループであるシャ

ーマンの日巫女達との共同作業が託されました。

また愛のシェンロンやダイヤモンド・シェンロンを復活させた事は「宇宙の意志」、黄金の女神、ダイヤモンドの女神達の喜びともなりました。

この事によって、新しい宇宙の創造も一気に加速してきたと言えるでしょう。

クリスタル族や多くのセントラル種族も、皆さんの前に道を開きました。

これらのスピリチュアルな世界の創造主達と共に活動するために、あなた方はさらに大きな進化を行い新たな能力を身につけなければならないのです。

○「神聖なる愛の結晶」について

私達が今回、あなた方に与える「神聖なる愛の結晶」は、私達にとって最高次元の「神聖なる愛の女神」の光そのものです。

「神聖なる愛の女神」は、物理的な宇宙、スピリチュアルな宇宙のすべてを統括し支えている存在です。

その愛の光の一滴（しずく）は、星を生み、銀河を生み、生命を生み出します。

「神聖なる愛の女神」の光を、私達が分かち合う事で、幾多もの星々と生命達を抱く数多くの銀河や星団が生まれ、広大な宇宙を創造していくのです。

「宇宙の意志」と黄金の女神、ダイヤモンドの女神達は、その光の滴によって、多彩なスピリチュアルな宇宙を創造します。

それは、物理的な宇宙となる前の宇宙のひな型のような世界を創造します。

私達セントラル種族やクリスタル種族、デバイン・マスターは、そのひな型によりエネルギーレベルで詳細な形を与えます。

そして精密な星や銀河、星雲の働きや形を作り出し、そこにどのような生命や種族を生み出すか決定するのです。

つまりより精密な宇宙の設計図を描く事になります。

創造主エンソフとその評議会、ブラフマン達は、私達が描いた設計図を基に、物理的な世界を生み出すために「神聖なる愛の女神」の光の一種であるオリハルコンを使用します。

オリハルコンが物理的な宇宙を創造する事に使用される事に対して「神聖なる愛の結晶」は、スピリチュアルな宇宙を創造する事に対しても使用する事ができます。

この宇宙の多くは、皆さんの物理的な世界とは異なる非物理的なスピリチュアルな領域に存在しています。

そのために、通常の視覚では見る事ができません。

しかし物理的な世界には、その世界を取り巻くようにして何重もの非物理的な世界が存在しています。

物理的な世界は、それらの目に見えない世界の一部から生み出されてくるのです。

もちろん創造主エンソフ達は、目に見える世界を幾重にも取り巻く目に見えないスピリチュアルな宇宙に対しても多くの働きかけを行います。

しかしスピリチュアルな宇宙を創造する創造主は、目に見える世界、目に見えない世界

を自由に創造し、そこに生命の息吹を与えなくてははいけません。

その事を可能とするのが、この「神聖なる愛の結晶」と呼ばれるものです。

宇宙の最高次元に存在する「神聖なる愛の女神」は、すべての宇宙の創造主であり母親のような存在です。

私達でさえも彼女の光の一つの滴（しずく）にしかすぎないのです。

「神聖なる愛の女神」によって認められた存在は、彼女の愛の光に深くつながる事で、常にその光を、自らのスピリットの中に抱き、自らの意志によって使用する事ができるようになります。

私達は、「神聖なる愛の結晶」を使用して、新たな宇宙を創造する事も、新たな種族を生み出す事もできるようになります。

そして、すでに存在している生命達に、この光を使用する事により、彼らの本質や能力を目覚めさせる事ができるようになります。

皆さん方が、今行っている人類としての進化も、さらに早いスピードで行う事ができるようになる事でしょう。

○「神聖なる愛の結晶」の使用法

この「神聖なる愛の結晶」の使用法についてお知らせいたしましょう。

まず「神聖なる愛の結晶」があなたのスピリットの中に埋め込まれた事と思います。

「神聖なる愛の結晶」をスピリットに埋め込み、神聖なる愛の女神と深く繋がり、自由に使用するためには、神聖なる愛の女神の許可が必要です。

しかしあなた方のメンバーの中には、それが許される人も数名いるはずです。

通常は、皆さんを通して「神聖なる愛の結晶」の光のみが、多くの人達のもとに届けられます。

「神聖なる愛の結晶」は、あなたが愛の女神と深くつながり、その光を他の人々のスピリットに与えていく事を可能とします。

「神聖なる愛の結晶」から生み出された愛の光は、その人のスピリットに宿り、その人の本質を目覚めさせ、より速やかな進化を行う事でしょう。

そしてその人のハートから、愛の光は輝きだし、多くの人達に素晴らしい影響を与える事となります。

しかし、あなたから「神聖なる愛の結晶」の光を与えられた人は、その光を他人と分かち合う事はできても、その人達を愛の女神につなげる事はできません。

あなたが与える光は、その人にとって永遠の光となりますが、あなたがその光を与えた人は、他の人とは一時的に光を分かち合う事しかできません。

しかしそれだけでも、多くの人にとっては、大きな成長と進化をもたらす光となる事でしょう。

あなたが、一斉アチューメントで行った場合、あなたから「神聖なる愛の結晶」の意味を知らされ、本当にそのエネルギーを必要としている人達は、あなたがその人の名前を呼ぶ事により、愛の女神と深くつながり、その光を受け取る事ができます。

しかし、この光は誰もが受け取れるわけではありません。

自分自身を信頼する気持ち、成長や進化を望む気持ち、自らの本質と向かいあう勇気そして愛を分かち合う優しさを持っていなければ、この光を受け取る事はできません。

ただ自分のエゴのために受け取ろうと思っても、そこには何も起こらないでしょう。

「神聖なる愛の結晶」は地球の人達が、さらに早くそして広範囲で目覚めるために用意された光です

この光がもたらされる時は、大いなるアセンションの前夜なのです。

地球の人達が、さらに高次の進化を行うために与えられた光である事をどうか理解してください

PART 3 「神聖なる愛の結晶」がもたらす光 「神聖なる愛の女神」からのメッセージ

「神聖なる愛の結晶」をもたらした「神聖なる愛の女神」からのメッセージです

○宇宙を創造する愛の光

皆さんが、私達の光を直接受け止めてくださるところまで成長していただけた事を私達は、大変うれしく思います。

私達の愛の光は、皆さんもご存じのように「宇宙の創造の源の力」です。

この宇宙は、愛によって創造されている事を皆さんはどのようにお考えですか？

地球の人達は、愛を「人と人との愛」に限定して考える事が多いので、「宇宙を創造する愛」と言われてもあまり理解できないかもしれませんね。

愛とは、すべてのものを結び付け、統合し、さらに発展させていく力です。
皆さんの世界でもそうあるように、人と人を出会わせ、結びつきたいという感情を持たせ、あなた方は相手と一つになります。
そしてあなた方は新たな生命を授かるのです。

それはこの宇宙のすべての生命や現象に共通する神聖な法則です。

愛は、異なるもの達を一つに強く結びつけます。

それが、形ある生命であれ、形なきエネルギーであれ、同じように結びつけるのです。

皆さんも、そして多くの生命達も、またエネルギー達も、私の愛の光から生み出されています。

皆さんの心の中には既に「愛の光」の欠片が存在しているのです。

その愛の光は、常に自分を愛で満たしたいと考えています。

そして自らを成長させ、さらに豊かになり、仲間を増やしたいと考えているのです。

愛の欠片は、自分を満足させてくれる相手や自分と共に家族を増やしてくれる相手を求めているのです。

それは、とても神聖な欲求です。

皆さんの本質は、自らの内側にある愛を目覚めさせ成長させる事にあるからです。

しかしその愛の欲求は、皆さんの世界では、愛の快樂と共に存在していますので、皆さんは、愛の神聖さではなく快樂の方にその身をゆだねてしまう事が多いのです。

私達は、その事を決して悪いと言っているのではなく、それは生命の本質の一部だと思っています。

しかし、あなたの高次のスピリットは、その事だけに満足するものではありません。

あなた方は、愛の欠片がもともと存在していた愛の源に戻るために、自らを成長させようと思っています。

そして、皆さんの心の中にある愛の本質を読み取ろうとします。

○愛によって創造される世界

皆さんが持つ愛の働きは何であるのか、皆さんがこの地球に生まれた目的は何であるのか。

皆さんは、そのような働きかけから、皆さんが地球に人類として生まれて来た本当の理由を知るのです。

私の言葉を目になさる人達は、自分の愛の本質に目覚めるための、とても大きなプログラムが隠されています。

そのプログラムとは、「愛の種族」によって作られたものです。

愛の種族とは、この地球だけでなく宇宙のさまざまな星、さまざまな種族の中に存在しています。

彼らは、宇宙の中にある様々な星に降り立ち、その星の人達と協力し合いながら、その星の人々を愛し癒します。

そして、その星に住む人々を、愛に満ちた素晴らしい光の存在としていくのです。

星に住む人々の多くが、愛に満ちた豊かな存在となれば、その星も協調性のある豊かで素晴らしい星となります。

そのような星が増える事で、その星が存在する銀河や星団も素晴らしい世界へと成長していくのです。

愛の女神である私は、皆さんが住む太陽系や天の川銀河をはるかに超えた世界に存在しています。

私達は、愛の光によって、星々を生みだし、銀河や星団を形作ります。

そしてそこに生きる動物や植物などの種族も作り出します。

私達は、愛の光によって、多くのエネルギーを生みだし、結び付け、統合し、さらに新たなエネルギーを生み出していきます。

それらのエネルギーによって、新たな次元や星、宇宙が生まれるのです。

私達は、皆さんの目に見える物理的な宇宙だけでなく目に見えないさまざまな宇宙や世界も創造します。

この世界では、目に見える世界よりも、目に見えない世界の方がはるかに大きくて多彩です。

目に見える宇宙は、目に見えない宇宙のほんの一部にも満たないくらいです。

しかし、目に見える世界の星々やそこに生きる皆さんの中にも愛の光は存在していますし、目に見えない宇宙の星々や生命達の中にも愛の光は存在しています。

その2つの世界を結びつけるために愛の光は2つの世界に住む存在達に働きかけます。

皆さんを守護する天使達やマスターや女神達も、この愛の光を基に、あなたと深くつながりあなたを守護し導いているのです。

皆さんが大好きなフェアリーやホビット達も、この愛の光で動物や植物、あるいは自然の中に存在する土や水の流れとつながり、彼らに働きかける事ができるのです。

ペガサスやバード族、そしてドラゴンやシェンロン達も、この愛の光を使って、宇宙に存在する多くのエネルギーや叡智とつながり、それらを統合したり分離したりしながら、新しい次元やエネルギーを生み出していくのです。

○「愛の種族」の働き

もちろん皆さんは、この物理的な地球に生きていますので、皆さんの愛の光は、彼らよりも限定された働きしか持たないかもしれませんが。

しかし、あなたがたの中には、とても大きな光と働きが宿っているのです。

それが、私が述べた「愛の種族」としての働きです。

愛の種族とは、「神聖なる愛の女神」の愛のエッセンスを持つ者です。

私の光が、その心を照らす事により、他の存在よりも、はるかに大きな愛と能力を持つ事ができます。

そしてその資質は優れて高く、この地球や地球に生きる多くの生命達とその愛を分かち合うようにできています。

愛の種族の人は、人を純粋な気持ちで愛す事や癒す事、地球と地球に生きる生命達を愛し慈しむ事を目的として生まれてきたのです。

しかしながら、地球に存在する多くの愛の種族のメンバーが、その事を忘れ去っています。何度も地球に生まれ変わる事で、愛にまつわる苦しい経験、悲しい経験を繰り返して、自らの愛の働きを封印し見失ってしまったのです。

あるいは、日々の忙しさの中で、自分自身が愛の存在である事さえも気づかなくなってしまうました。

皆さんが、ここに来られたという事は、皆さんは幸いにして愛の種族として目覚めつつあるという事です。

皆さんのスピリットが、過去の封印を解き放ち、あなたを目覚めさせようとしています。

皆さんの心の中にある愛の本質を目覚めさせてください。

そうする事で、皆さんの隠された能力や資質が大きく開いていきます。

皆さんは、自分が持っている愛を分かち合わずにはられないのです。

多くの人や生命と愛を分かち合いたい、人を癒したい、地球を守りたい、宇宙と一つになりたい。

そのような気持ちがあなたの中に芽生え始めているとすれば、それはあなたが愛の種族として目覚め始めている証拠です。

地球も宇宙もこれから大きく進化していきます。

新たな宇宙も生まれてくる事でしょう。

そのために、大切な働きをするのが「愛の種族」達なのです。

愛の種族達によって、新たな宇宙が生み出され、愛に満ちた豊かな世界がそこに展開されていきます。

私達は、常にこの宇宙を素晴らし光で満たしていきたいのです。

愛の種族の中でも大きな流れを持つシャーマンの日巫女族と共に活動してください。皆さんの中に芽生えてきた愛は、この地球を超えて、私達「神聖なる愛の女神」の光をこの地球と地球に生きる多くの生命達にもたらす事でしょう。

私が今回もたらす「神聖なる愛の結晶」は、皆さんが持つ「愛の光」をととても大きく活性化してその成長と進化を早めます。

皆さんが、私達、神聖なる愛の女神と直接つながる事により、皆さんの愛は最大限に大きくなり、より高次の働きを行うようになる事でしょう。

そのためには、まず皆さんの中にある、さまざまな感情やエネルギーを日巫女と共に癒し解放してください。

愛にまつわる様々な苦しみや悲しみの感情を癒し、あなたの中にある恐れや制限を解き放ってください。

あなたが、愛の種族として目覚め、飛躍的な成長と進化を遂げ、素晴らしい活動をしていただける事を、私達は願っています。

PART5 セントラル・イエスとDNAを修復する「神聖なる愛の結晶」

モーセスと「神聖なる愛の女神」からのメッセージを受けとった朝、その日の個人アチューメントで更なる世界へと導かれます。

わたし達が、アーネストのアチューメントを行っている、グレート仏陀が現れてきます。グレートブッダの一部が、地球に現れた仏陀ですので、仏陀のエネルギーの本体という事です。

私達は、グレートブッダが連れていきたいところがあるからという事で、ブッダとともに次元を上昇していきます。

するとそこには、イエスさまが待っていました。

私達はいままで、いくつもの次元のイエス様に会っていますが、いままであったイエス様より、更に神々しい感じですよ。

私は、メンバーを通して、イエス様にどの次元のイエス様であるかたずねました。

私達が知っているイエス様は、地球に生きて活動されていたイエス様とその本体であるサナンダ様。

そして、天の川銀河の星々を指導するためにやって来られたアンドロメダ銀河のイエス様。

そして、局部銀河の中でもグレート・ゴッデスとよばれるグレート・イエス様です。

私達は、特にグレート・イエスさまには、常に多くの指導とサポートを行ってもらっています。

「TAKESHIさん、皆さんの活動や成長の様子は、私達も喜びを持って見守っています。私の一部であるグレート・イエスは、今まで

あなた方の事を、本当に親身になって面倒をみてきました。

彼の働きも、だいぶ実ってきたようですね。わたしは、皆さんの区分では宇宙の創造者、セントラル種族の場所にいるものです。私の役目は、皆さんに愛を授ける事です。私は、皆さんに惜しみなく愛と知恵を注ぎ、その成長を支えます。」

そしてセントラルイエスは、自分と愛の種族が、常にこの地球と宇宙に対して愛をもたらし、人々を成長させるために活動している事を伝えてくれます。

私は、イエス様に尋ねます。

「それでは、セントラル・イエスは愛の種族とは、関係があるのですか。」

「私は、愛の種族を運営するメンバーの1人です。

愛の種族は「神聖なる愛の女神」によって生み出されていますが、私を含めて数名のマスターがその働きをサポートしています。」

「それでは、先日お会いした日巫女もそのメンバーの一人ですか」

「いえ卑弥呼さんは、愛の種族の中でもシャーマンの働きをするグループのリーダーですので、愛の種族そのものの運営にかかわるわけではありませんが、わたしは卑弥呼さんとも仲が良く、時々お会いしています。あなたは、これから、少しずつ愛の種族の中心メンバーとも、会う事になるでしょう。」

「セントラル・イエスよ、あなたのおっしゃる事は私もよくわかりました。あなた方の、大切な秘密をいくつも教えてください大変有難うございます。」

「TAKIESHI さん今日は、あなたに「神聖なる愛の結晶」の働きについて少し説明を行いたいと思ってここにあなたをおよびしました。

先日、あなたが受け取った「神聖なる愛の結晶」の秘密は、それが皆さんの傷ついたDNAを修復する働きがあるという事です。

皆さんは地球に何度も生まれ変わり、様々な体験をしてきました。

そして、多くのストレスや苦しみにによって、自分自身のDNAを傷つけてしまい、DNAの完全な働きを実現できずにいるのです。

「神聖なる愛の結晶」は、それらの傷ついたDNAを修復し、DNAが最良の形で働く事をサポートします。

その結果、皆さんが本来忘れていた「愛の種族」としての働きや能力を思い出し、「愛の種族」として目覚め活動する事が可能となるのです。」

イエスは私達を見てにこにこ笑います。

「TAKESHI さん、「神聖なる愛の結晶」の働きはもう一つあります。

それは、皆さんがはるか昔、地球にやってきたときの能力や資質を少しずつ思い出していくという事です。

「愛の種族」は、さまざまな種族の存在達が「神聖なる愛の女神」の光を受け取る事により、「愛の種族」となるのですが、「愛の種族」としての特性だけでなく、もともとの種族の特性も少しずつ目覚めてきます。

皆さんがすでに忘れ去っている能力やパワーが、「神聖なる愛の結晶」を受け取る事により目覚め活性化していく事でしょう。」

私達は、セントラル・イエスの周りにフェアリーやペガサス、天使達の光が輝き始める様子を見えています。

「そして「神聖なる愛の結晶」には、皆さんが今まで持っていなかった知恵や知識を他のマスターから教えてもらうためのツールも組みこまれています。

皆さんはこの結晶によって、やがて今までに見た事もないような素晴らしい存在として生まれ変わる事でしょう。

それはこの地球にとっても宇宙にとっても素晴らしい出来事です。

地球人が愛の種族として目覚め、宇宙の中でも素晴らしい活躍ができる存在となっていく事でしょう。

あなた方地球人は、私達にとっても大いなる希望なのです。

私達は、地球に住む人々が目覚める事を待っています。」

「セントラル・イエスよ、本当に素晴らしいお言葉をいただき大変ありがとうございます。

私達の周りにも、たくさんの偉大なマスターが応援してくださっているのを私達はとても感謝しています。

そのために日巫女族が現れてくださったのですね。」

「もちろんです。日巫女は愛に種族の中でもとても優秀な種族のリーダーです。

彼女達は、自分達の仕事をよく知っていますし、皆さん達を十分にサポートする事でしょう。

日巫女族は、地球の物理的な世界でも、人間

の感情や意識を癒し活性化する事ができます。

また地球のコアだけでなく、地球の地表にある海や山々、動物や植物なども「神聖なる愛の結晶」を使って活性化する事ができるので。

そして、この地球そのものを活性化する事で、そこに住む人々の意識の進化を早くする事に取り組んでいます。」

私は、日巫女族が、私達の前に現れ、私達との共同作業が行われる事が決まった事で、私達にも「神聖なる愛の結晶」がもたらされる時期が来た事を知りました。

「TAKESHI さん、この地球には、だいぶ光がもたらされました。

もう少しで、完全な光となるでしょう。

この地球には、たくさんのマスター達の協力によりどんどん光が満たされていますが、実は、まだ行き届いていない所がいくつかありますので、そのような場所に重点的に光を送ってください。

地球が完全な光になる事で、宇宙全体にも光が満たされる事でしょう。」

第12章 宇宙の大船団、神聖なる愛の女神のもとへ

PART1 アンドロメダ銀河におきた異変

私達が、個人アチューメントでいくつかの星に行った時、思いがけない事を聞くようになりました。

アンドロメダ銀河の中心的な星である「アールスター星」に呼ばれていった時も、その星のマスターであるアールスターがとても元気がない様子です。

私達が、アールスターに困っている事がないか、訪ねると、アールスターは言いにくそうに答えます。

「TAKESHIさん、とても言いにくい事なのですが、地球の中心軸が整う事によって、地球の多次元通路につながっているいくつかの星々が、地球から放出されたネガティブなエネルギーを受けて大きなダメージを受けているのです。

通常は、少しずつ流れ出ているのですが、中心軸が整う事によって、それまでに溜め込まれたネガティブなエネルギーが一気に放出されてしまったのです。

地球にとっては、それは必要な事であり良い事だったのですが、他の星にしてみれば、突然巨大なネガティブなエネルギーが襲ってきた事になります。」

私は、前回の星のツアーで、天の川銀河の創造主の神殿で、地球の中心軸を修正する事で

地球のエネルギー状態が変わり、地球のはるかな高次の世界にある創造主の神殿の次元に大きなひずみが生じた事を知らされました。

その時は、創造主の神殿の裏にできた大きな裂け目を修正する事で、そのひずみを解消する事ができましたので、地球の中心軸の修正による被害は、局所的なものだろうと思っていたのです。

しかし、事態はもっと広範囲で深刻であったようです。

地球から遠く離れたアンドロメダ銀河の星にまで、その影響が届いているという事は、他の星々にも、影響が出ている星がいくつもあるかもしれません。

私は、この宇宙の創造主であるエンソフに来てもらいました。

「偉大なるエンソフよ、あなたに教えてもらいたい事があってお呼びしました。

実は、あなたもご存じのように、サナートクマラが作った地球の中心軸を先日修正しましたが、そのために、多くの星へと影響が出ているのは何故ですか。」

「TAKESHI さん、確かに中心軸を修正する事で、地球の歪みがなくなり、その歪みにたまっていたネガティブな感情やエネルギーが押し出されるように、多次元通路から放出されました。

多次元通路は、地球と関係が深い星々へとつながっているので、その放出されたエネルギーの影響を受けてしまった事は事実です。

しかし、その事によって、自分達の星にも、愛のエネルギーが不足している事をそれらの星の人々は知らなければならないのです。

それは、地球のエネルギーのせいばかりではなく、自分達の星のネガティブなエネルギーと共鳴し合っている事を知らなければならぬから、起きた事なのです。」

「エンソフよ、確かにそうかもしれませんが、やはり私達は、それらの星に対して、大変悪い事をしたという気がします。どうか、この事に対する解決策を教えてくださいませんか。」

「そうですね、皆さんがそう考えるのも仕方がない事です。解決策は、それぞれの星が、自分達の星に対してもっと愛を満たす事しかないのです。そのために、皆さんは「神聖なる愛の女神」から素晴らしい愛の光の結晶を貰ったのではないですか。」

「そうでした。偉大なるエンソフよ。この愛の結晶を活用する事で、私達だけでなく、多くの星々を愛に満たす事ができるのですね。私達は、私達だけでなく、もっと多くのマスター達が、この愛の結晶を持つ事で、地球に関係がある星もさほど関係がない星も分け隔てなく愛に満たし、この宇宙全体を愛の光に満たす事もできるのですね。」

私達は、この愛の結晶をアールスターとこの星の女神に分ち合うために、この星にある女神の神殿にいきました。そこで、アールスター星の女神達とともに、「神聖なる愛の女神」の光をこの星に導き祈り始めます。多くのマスター達も共に祈り始めると、光の輪が広がり、アールスター星は光に包まれていきます。

私達は、アールスター星のひずみの修復を終えると、ユニバーサルパレスに向い、各銀河や星団の代表者達とこの件について話をする事にしました。

PART2 ユニバーサルパレスでの会議

私達はこの宇宙を構成する各銀河や星団のマスター達が集まっている「ユニバーサルパレス」へと向かいました。

ここでは、多くのマスター達とともに、この宇宙で起こっている問題や未来についてさまざまな会議が行われます。

私はステージの壇上に立ち、地球の中心軸の修正を行う事で、この宇宙におきた異変について説明します。

マスターの中からも、この変異について報告が行われましたが、あるマスターはこのように述べていました。

「今回の事は、地球が良くなっていくために必要な事です。

地球が良くなっていく事で、この宇宙がさらに良くなっていくのであれば、私達はそれを受け止め地球をサポートします。」

私はこのマスターの言葉に胸をうたれました。

このユニバーサルパレスに集まっているマスター達の中には、本当に地球の事を心配しサポートしてくれるマスター達もたくさんいるのです。

「偉大なる、マスター達よ、皆さんの素晴ら

しいお言葉に感謝します。

しかし、この事に対してきちんと解決策があります。

創造主エンソフとも話をしたのですが、私達はこの宇宙の最高次元の「神聖なる愛の女神」の光の結晶を受け取っています。

それは、私達のハートと「神聖なる愛の女神」のハートを一つにつなげ、私達を愛の存在に変えるだけでなく私達が住む星を愛へとかえていくのです。

私達は、この愛の結晶を「神聖なる愛の女神」から受け取り、皆さんの星そのものを愛の星に変えていく努力を行いたいと思います。そうすれば、この宇宙そのものが愛の宇宙へと大きく進化していくのではないかと考えています。」

会場にいるマスター達は大喜びで手を叩いています。

「それでは、各銀河や星団のマスター達よ、明日は私達の星のツアーがあります。

その時に、皆さんで「神聖なる愛の女神」のもとに行きますので準備をしてください。」
そこまで言うとマスター達から質問がありました。

「一緒にいけるのは、ここにいるメンバー達だけですか、もっとたくさんのメンバーと一緒に連れていきたいのですが、そうしないと自分達だけでは、どうにもならないような気がするのですが。」

確かにそうです。

彼らは各銀河や星団を代表してきていますが、1つの銀河には、大きな銀河であれば、スピリチュアルな世界を持つ星は数えきれないほどあるかもしれません。

1人のマスターが、それらの星々のマスターに光を分かち合うのは大変な作業ですね。私は、先日お会いしたセントラル・イエスをお呼びして、どれだけの数のマスター達を連れて行ってよいか相談する事にしました。

セントラル・イエスは、私達が興奮して盛り上がっている様子をにこやかに笑いながら見えています。

「皆さんが、できる限りたくさん来てくださる事を私達も大変喜んでいきます。

そうですね、各銀河、星団で宇宙船一隻ずつではいかがですか。

恐らく皆さんの宇宙には、叡智ある存在達が存在している銀河や星団だけでも1000個以上はあるでしょう。

その銀河や星団の中で代表者を決めていただいて、宇宙船に乗れるだけ乗せてきてください。

私達も準備をしておきますので、気を付けてきてくださいね。」

PART3 「神聖なる女神」への光の通路

翌日、私達は星のツアーで、ユニバーサルパレスに参加している銀河や星団のマスター達と共に、「神聖なる愛の女神」のもとに向う事にしました。

私達が、ユニバーサルパレスに向うと、遠くからでも見えるほどの大きな宇宙船が数隻待機しています。

そしてその周りには、数えきれないほどの宇宙船がひしめき合って待機しています。

見るからに、すごい数の宇宙船が並んでいます。

私はパレスの会議室に入ると、中央のステージで皆さんに呼びかけます。

「皆さんが、今日このパレスに集まってくださった事に深く感謝します。

私達は、自分達の星や銀河だけでなく、お互いが協力しあってこの宇宙を素晴らしい愛の宇宙にするために、これから「神聖なる愛の女神」のもとに、愛の結晶を受け取りに行きます。

それは、いくつもの高次の次元をたくさん超えて、物理的な宇宙だけでなくスピリチュアルな宇宙の創造主のもとに行く試みです。

私達は、心の中に純粋な愛を持って、女神の導きのもとに進まなければなりません。

今回参加しているすべての銀河や星団のマスター達が、1人残らず女神のもとまで行けるように祈りましょう。」

私達は、「神聖なる愛の女神」のもとまで光の通路を作る事にしました。

しかもこれだけの大船団が通る光の通路ですので、相当パワフルで大きなものでなければなりません。

私は高次のシェンロン達を呼びだし、多くのシェンロン達やバード族を集め光の通路を作るようお願いしました。

4大シェンロン達が中心になって、光の通路の基礎を作ります。

愛の源の世界にいる3大シェンロン達も降りてきて、愛の源までの光の通路を作ります。さらに、「宇宙の意志」達が存在する世界からも、創造のシェンロンをはじめ、叡智、崇高そして統合のシェンロン達が降りてきて光の通路をつなぎます。

最後は、ダイヤモンド・シェンロンが、その

光の通路を、「神聖なる愛の女神」のもとまでつないでいくようです。

彼らをサポートするように、たくさんの次元のシェンロン達やドラゴン、バード族、天使達がサポートに入ります。

私は、光の通路が出来上がると、「神聖なる愛の女神」を支える 3 人の創造主達の名前を呼びます。

「偉大なる「宇宙の意志」、黄金の女神、ダイヤモンドの女神、どうか私達に、皆さんの光を満たしてください。

そして、私達が偉大な創造主とともに愛を分かち合う事ができるように、私達の心に愛の光を輝かせてください。

そして「神聖なる愛の女神」のもとにお導きください。」

すると創造主達の光が、私達の心とスピリットの中にどんどんあふれていきます。

「偉大なる「神聖な愛の女神」よ、私達のスピリットにあなたの光を満たしてください。私達がいつでも愛の存在である事ができるように、私達の愛を目覚めさせてください。そして、あなたのもとにお導きください。」

私達のハートの中に「神聖なる愛の女神」とのつながりが生まれてきます。

私達はこの光の導きによって女神の所まで、いくつもの次元を超えて登っていきます。

準備ができたようです。

私達とマスターは全員宇宙船に乗り込み、「神聖なる愛の女神」のもとに向って出発します。

PART4 「神聖なる愛の女神」のもとに向 う大船団

私達はフェニックス号に乗ると、フェニックス号のロビーの中にマルチスクリーンが現れ、船の周りを映しだします。

前には光の通路がまばゆく輝き、私達の行く道を照らしています。

周りには、おそらく 1000 隻以上の大小さまざまな形をした宇宙船がひしめき合っています。

私は、フェニックス号の船長にお願いして、すべての宇宙船が離れる事なく航海していけるように、光のラインでつないでもらいます。

フェニックス号を先頭として大船団が動き始めました。

最初に私達が、そして大型の宇宙船に守られるようにして、小型の宇宙船達が次々と光の通路の中に飛び込んでいきます。

光の通路の中では、さまざまな光の帯が、私達の後ろにどんどん流れています。

ここからは外の様子は見えないのですが、ユニバースの物理的な宇宙を抜け出すと、マルチバースの中を通り抜け、さらに愛の源の世界を通り抜けていくようです。

愛の源の世界は、マルチバースを取り囲むとても広大な次元で、時間も空間も物理的な宇宙とはまったく異なるようです。

私達は、その愛の源の世界も通りぬけて進みます。

やがて、光のトンネルを進む速度が緩やかになり、光の通路に出口が見えます。

「神聖なる愛の女神」のもとに行く前に、私

達は、スピリチュアルな宇宙の創造主の次元で宇宙船を止めます。

ここは、「宇宙の意志」や黄金の女神そしてダイヤモンドの女神と呼ばれる創造主達が存在している世界で「神聖なる愛の女神」の一つ下の次元になります。

私達は、最高次元に入る前に、ここで創造主から光を受け取り、自分達の意識とスピリチュアルなエネルギーを高めめます。

「宇宙の意志」、黄金の女神、ダイヤモンドの女神は、物理的な世界だけでなくスピリチュアルな世界さえも創造する働きを持っています。

「宇宙の意志」からのメッセージを受け取ります。

「皆さんが、これほど多くのメンバーでこの世界まで来てくださるとは、とても素晴らしい事です。

私達は、この宇宙を創造し見守っています。皆さんが生まれるはるかな昔から、そしてはるかな未来まで、私達はこの宇宙を見守り続けているのです。

私達には、皆さんの宇宙にあるような時間とは異なるスケールで時間が流れていますし、皆さんが見る宇宙は、すべて私達の内側にあります。

皆さんの存在する宇宙も、皆さん自身も全て私達の一部であり、また私達も「神聖なる愛の女神」の一部です。

皆さんが自分の存在の源となる「神聖なる愛の女神」のもとに来てくださったという事はとても大きな意味があります。

皆さん1人1人が、すべての存在が一つにつながる「ワンネス」の世界に帰ってきたとい

う事です。

どうか皆さん1人1人が「神聖なる愛の女神」の愛の一滴である事を思い出してください。」

「宇宙の意志」と黄金の女神、ダイヤモンドの女神、そして彼らの後ろにはダイヤモンドのシェンロンが私達を見守っています。

「それでは、偉大なる創造主達よ、私達に光をお与えください。」

私達は、創造主の光を浴びて、さらにスピリットの意識を高めていきます。

PART5 「神聖なる愛の女神」のもとへ

私達はさらに、宇宙船で「神聖なる愛の女神」のもとへ光の中を登っていきます。

そして「神聖なる愛の女神」の光の中に入ると、とても優しく幸福な感情が私達の中に入ってきます。

私達は、「神聖なる愛の女神」の前に出て、一人一人が愛の結晶を受け取っていきます。私達の中に、カチッと愛の結晶が収まると私達の中に、大きな愛が輝いていきます。

これで、地球と多くの銀河や星団の星や人々も、愛に満たされた宇宙へと大きく前進していけます。

私達は、ここでしばらく瞑想して、愛の光の中にその身を満たしていきます。

宇宙船で共にやってきた各銀河や星団のマスター達も、至福の愛の世界に包まれているようです。

そして、愛の結晶に輝くハートを持って、私達は新たな旅へと出ていきます。

私達の次の仕事は、「天の川銀河の 12 神殿」の復興です。

宇宙で活躍する神々や創造主 の段階

宇宙で活躍する神々や創造主の段階

青字は天使

地球	マザーガイア、 天照大御神などの世界中で活躍する神々（スターピープル） サナートクマラ、サナンダなどのマスター 人間を守る守護天使
太陽系	アメンラー、ゼウス、ポセイドンなどの創造神 大天使
天の川銀河の小創造主	天の川銀河の各星座を担当する小創造主 ペテルギウス、北極星、南十字星、レグルス星、スピカ星等 天の川銀河の大天使
天の川銀河を統治する中創造主	アディテーヤ 仏陀 アリターリア
局部銀河を統治する中創造主	イエス アールスター アリアドーネ 宇宙の魔法使い エルシーダ シバ オニキス ユニバーサル・エンジェル
	グレートイエス グレートマリア
物理世界を創造する創造主	ブラフマン 界王 グレート・スター
ユニバース（単一宇宙）	グレート・ユニバース グレート・キング グレートマザー

の創造主	グレートエンジェル
特殊な創造主	ゴールドシファー 宇宙の大地のマスター ホーリーエンジェル
マルチバースの創造主	セントラル・サン&ムーン ゴッデス・オリジン ゴッデス・ユニティ
愛の源の世界	愛の源の世界のマザー エンソフ アメンラー ウイング
高次の物理世界の創造主	セントラルレース セントラルイエス&マリア クリスタルレース デバインマスター
	永遠なる愛の女神 黄金の女神 宇宙の意志 ダイヤモンドの女神
12 神殿に関わる創造主	鳳凰族の創造主 ソフィア族の創造主
	無の創造主 祝福の創造主 太陽種族の創造主
物理世界の系列を表す創造主	輝きの創造主 光と闇の統合の創造主 至高なる愛の創造主 永遠なる時の創造主

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生み育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが

存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主達です。第1評議会の中心的な創造主達になります。リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピュータを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っている事はもちろんですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。